



終わりの時代の 管理職（Ⅱ）

目次

1. 創造主にして所有者	5
2. 最高の与え主	10
3. すべてを祭壇の上に	15
4. 主に対してするように	20
5. 一時と永遠	25
6. 金銭を愛すること	31
7. 天に宝を	36
8. 什一と初穂	41
9. 感謝献金と貧しい人への配慮	46
10. 神の倉：神の教会	52
11. 神の働きに資金を供給する	57
12. 聖書的な財務の諸原則	62
13. 働きを完了する	67
14. わたしたちの最後の機会！	72

安息日聖書教科は、他のコメントをいっさい加えず、完全に聖書と証の書のみに基づいた毎日の研究プログラムです。引用文は、簡潔で直接的な見解を提供するために、可能なかぎり短くされています。ある部分では、明瞭さや、適切な前後関係、また読みやすさのために〔 〕の括弧が使われています。抜粋されている原文をさらに研究することをぜひともお勧めします。

セブンスデーアドベンチスト改革運動世界総会安息日学校部 (P.O.Box 7240
Roanoke, Virginia 24019-0240, U.S.A.)

安息日聖書教科 Vol.98, No.4

編集&発行：
S D A改革運動日本ミッション

〒368 - 0071
埼玉県秩父郡横瀬町芦ヶ久保
1607 - 1

TEL : (0494) 22-0465

URL :
<http://www.4angels.jp>

E-mail:
sdarm.shomaru@gmail.com

イラスト : Adobe Stock on the front cover and 30, 80; Good Salt on the front cover; Mapquest on pp. 4, 51, 80.

まえがき

わたしたちは、残り時間がわずかしありません！160年以上ものあいだ、この古い惑星は、栄光の雲に乗ったキリストの来臨のための機が熟してきました。わたしたちは、この終わりの時にどこに焦点をあわせるべきでしょうか。もちろん、天のカナンです—そして、そこにいるために、どのように自分たち自身と他の人々を準備させるか—ということです。

わたしたちの今期の研究主題は、クリスチャンの管理職の続きです。この地上において、イエスは、自分は若い頃から十誡すべてを守ってきたと主張する人に出会われました。「イエスは彼に目をとめ、いつくしんで言われた、『あなたに足りないことが一つある。帰って、持っているものをみな売り払って、貧しい人々に施しなさい。そうすれば、天に宝を持つようになろう。そして、わたしに従ってきなさい。』」（マルコ 10:21）。

わたしたちは天に宝を蓄えているでしょうか。あるいは、若い富んだ役人のように、表向きは十誡を守りながら、主人のための真心からの奉仕には欠けているでしょうか。神がわたしたちに与えてくださったすべてのものは、このお方に属しているのであり、わたしたちは自分たちの恩恵期間が閉じる前に、このための備えをしなければなりません。しかし、「従順と無我の愛がなければ、最も富んだ捧げ物も万物の所有者であられるお方に捧げるにはあまりにも取るに足りない」（教会への証 3 卷 57）。神の子らが利己心を克服し、地上における伝道の働きのためのご計画を果たすというのが、神のご目的です。神はいま、この働きをなすための民を準備しておられます—そして、それはすべての人がそれに参加する特権をつかもうとつかむまいと成し遂げられるのです。

「眠っており、とがと罪のうちに死んでいる世に警告を与える人々を、神は召しておられる。このお方は働きに心をささげ、魂が滅びず、永遠の命を持つことができるように、彼らのために重荷を感じている人々から自由献金を求めておられる。サタンは、人の魂で命のゲームをしている。彼は資金を確保し、それを凍結して、伝道事業の前進に用いられることがないようにしようとしている。わたしたちはサタンの策略に無知なのであろうか。彼がわたしたちの感覚を麻痺させるのを許してしまうのであろうか。」（同上 6 卷 446）

「何のためにわたしたちは宝を蓄えるのであろうか。終わりの日の炎に一掃されるためであらうか。わたしたちは裁きの日にわたしたちに不利な証言をするために—わたしたちの肉を火のようになめつくすために—、金銀を蓄えるのであろうか。わたしたちが敵の手に落ちるときまで自分たちの財産に執着するのであろうか。戒めの遵守者たちが売ることも買うこともできなくなるときが近づきつつある。家屋や土地、銀行株や商品は、そのときわたしたちにとって、何の役に立つのであろうか。今こそ、わたしたちの宝を永遠の安全なところにおくべき時である。……わたしたちが神のみ事業にお捧げるものは、永遠にわたしたち自身のものとなる。キリストは、『むしろ自分（自身）のため、……天に、宝をたくわえなさい』と言われる（マタイ 6:20）。わたしたちの持っているもののうち、これらだけが本当にわたしたちのものとなるのである。地上に蓄えるものはすべて、最終的に後に残さなければならない。わたしたちが永遠の世界へ持っていくことができるのは、唯一わたしたちがキリストのためにお捧げるものだけである。」（ビュー・アソド・ヘルト 1887 年 12 月 6 日〔筆者強調〕）

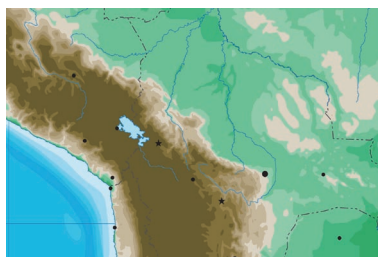
第一安息日献金

ボリビアン・ユニオン本部のために

ボリビアは、南アメリカの中央西部地方にある内陸の国で、北と東はブラジルに、南はパラグアイとアルゼンチン、そして西はチリとペルーに接しています。温熱帯地方に位置していますが、ボリビアはさまざまな標高があるため、気温は広範囲にわたっています。赤道地帯に典型的な気温から、北極圏の寒さにまで至ります。

1,150 万人以上の人口が 109 万 9 千平方キロメートル (5,479 平方マイル) に住んでいます。

ボリビア人口は、多文化です。主要言語は母国語としてスペイン語 (88.4%)、続いて先住民の間で話されるいくつかの言語、ケチュア (25%)、アイマラ (11%)、グララニ (1%)、その他 (4%)、その他 34 の先住民言語が加わります。



ボリビアは現在、非宗教的国家で人々に礼拝の自由を保証しています。SDARM のメッセージは、1940 年にここに届きました。数年をかけて、働きはアルゼンチン、チリ、パラグアイ、そしてウルグアイと共に南アメリカ・ユニオンの一部として急速に発展しました。

1994 年までにボリビアの働きは、別個のユニオンを形成するのに十分なまでに成長しました。ボリビア・ユニオンは、サンタクルス・デ・ラ・シエラ市で働きを開始しました。働きが進んでいくにつれて、今はコチャバンバ市に新しい本部の建設が必要であることがわかりました。この目標を念頭に、ボリビア・ユニオン会議と共に兄弟たちは、一人の兄弟が惜しみなく特別にこの目的のために寄付した大きな一画の土地を手に入れました。

建設は費用がかかります。そこで、世界中のわたしたちの兄弟がた、姉妹がた、友人がたに、わたしたちの国における神の働きの必要に援助することを真剣に考慮していただきますようお願いいたします。

先だって、ここボリビアでの神のみ事業の発達へ向けた皆さんの親切な貢献にお礼申し上げます。彼らは次に記された人々の中にいます。「ヨーロッパ、南米のカトリックの国々、中国、インド、海の島々、地のあらゆる暗黒の隅々に、神は、なお、暗黒のただ中に輝き出る選ばれた人々の星空を保っておられる。彼らを通して背信した世界に、神の律法に従うとき得られる人格を改変する力を、明瞭に示しておられるのである」(国と指導者上巻 156)。

皆さんの助けの手を今日のぼしてください。主がみなさんを豊かに祝福してくださいますように！

ボリビア・ユニオンの皆さんの兄弟姉妹より

創造主にして所有者

暗唱聖句：「われらの主なる神よ、あなたこそは、栄光とほまれと力とを受けるにふさわしいかた。あなたは万物を造られました。御旨によって、万物は存在し、また造られたのであります。」（黙示録 4:11）

「永遠に自存し、創造されたおかたでなく、自らすべてのものの根源であって維持者であられる主だけが、最高の尊敬と礼拝をお受けになる資格がある。」（人類のあけぼの上巻 356）

推奨文献： セレクテッド・メッセージ 1 巻 290-295

日曜日

9 月 25 日

1. 創造主にして維持者

- a. 創造の壮大な素晴らしさを眺めるときに、何を悟るべきですか（詩篇 19:1-3; イザヤ 40:18, 21, 26）。

「〔詩篇 19:1-3 引用〕。ある人々は、これらの自然界の偉大なものが神だと思われるかもしれない。それらは神ではない。諸天におけるこれらのすべての不思議は、ただ自分たちに定められた働きをなしているだけである。それらは神の代理人である。神が万物の創造主であり、また監督者であられる。」（セレクテッド・メッセージ 1 巻 294）

2. 神の全能さのどのような面が、日々わたしたちに触れますか（使徒行伝 17:24-29）。

「人の身体器官は、神の監督の下にある。しかし、それは一度動き始めるように設定されたら、自動的に進む時計のようなものではない。心臓は鼓動し、脈は打ち続け、呼吸に呼吸が続く。しかし、存在全体は神の監督の下にある。……鼓動の一つ一つ、呼吸の一つ一つは、アダムの鼻に命の息をふきこまれたお方の息を吸い込むこと―絶えず存在する神、偉大なわたしは有ってある者の息を吸い込むことである。」（同上 294, 295）

2. 敬神にふさわしい

- a. 神が、絶えずわたしたちの礼拝を受けるにふさわしい唯一のお方であることを示すのは、どのような事実ですか（詩篇 33:6-9; エレミヤ 10:9-13）。

「異邦の神々にまさって崇敬と礼拝を神がお求めになる根拠は、神が創造者であり、その他のものはみな神に創造されて存在するからである。」（人類のあけぼの上巻 396）

「神なる存在者が、ご自分の創造されたものを支える働きをしておられる。山々を支え、それらを配置している同じみ手が、太陽の周りを巡る神秘的な進行において諸世界を導いておられる。」（*エレキッド・メッセージ* 1 巻 294）

- b. どのような問いがわたしたちに神への敬神を吹き込むべきですか（ヨブ 11:7; 38:1-7）。この敬神は、どのようにわたしたちの魂の救いを促しますか。

「神聖な靈感は、最も深い施策をなす学者にも答えられない多くの問いを投げかける。それらの問いは、答えられるものとして発せられるのではなく、神の神秘に目を向け、人の知恵には限りがあることを悟らせるためのものである。日々の平凡な事柄の中にも、わたしたちの有限な理解力を超えた神秘が存在すること、神の裁きと目的は探り出すことができず、このお方の知恵ははかりがたいことを知らせるためである。このお方がもしご自分を人に表されるとしても、それはこのお方の厚い神秘の雲に覆われている。

神のご目的は、ご自身について人に知らせるよりも隠すことである。人が神の道や働きを完全に理解することができたら、神を無限のお方として信じないことであろう。このお方はその知恵においても、理性においても、目的においても、人によって理解されることはない。『その道は測りがたい』（ローマ 11:33）。このお方の愛は、決して自然の法則に基づいて説明することができない。もしそれができるとすれば、わたしたちは自分たちの魂の利益をかけてこのお方に信頼することはないであろう。懐疑論者は、自分たちの有限な思いでは、神がご自分を人にあらわされる無限な力を理解できないからといって、信じることを拒む。人間の身体機構でさえ、完全に理解することはできない。それはもつとも偉大な知性を持つ者をも当惑させる神秘を提示する。」（*パウル・コメント* [E. G. ホットコメント] 3 巻 1141）

3. 真の所有者

- a. 財産の所有権に関して、神はいつもわたしたちに何を理解するよう望んでおられますか（詩篇 50:7, 10-12）。

「主は……すべての事において、主を第一にすべきことを、イスラエルに教えようとなされた。こうして彼らは、神が彼らの畑、彼らの牛や羊の持ち主であり、神が日光や雨を送って、穀物を生長させ、実らせて下さったことを思い起こさせられたのである。彼らの持ち物は、すべて神のものであった。」（患難から栄光へ下巻 17）

「わたしたちの体は神に属している。このお方は魂と同様に体のためにも贖いの代価を支払ってくださった。『あなたがたは、もはや自分自身のものではないのである。あなたがたは、代価を払って買いとられたのだ。それだから、自分のからだと霊とをもって、神の栄光をあらわしなさい』『からだは不品行のためではなく、主のためであり、主はからだのためである』（コリント第一 6:19, 20 英語訳, 13）。創造主は、人間の身体機構を見守り、それを動かし続けておられる。このお方の継続的な見守りがなければ、脈は打たず、心臓の活動は止まり、脳はもはやその活動をしなくなる。」（健康についての勧告 586）

- b. 神の財産はどこまで及びますか（詩篇 24:1, 2; 申命記 10:14）。これはわたしたちにとって何を意味しますか（黙示録 4:11）。

「宇宙の唯一無二の所有者がおられることを、またすべての人はその時間、知性、資金ともども、魂のための贖い代を支払ってくださったお方に属していることを考えなさい。神は継続的な奉仕と最高の愛情を正当にご自分のものとして主張なさる権利がある。あなたの楽しみではなく、神の御旨があなたの標準となるべきである。」（エリクテッド・メッセージ 2 巻 137）

「自分たちが神に対してこのような関係にあることをいつも自覚している人びとは、食欲を満足させただけで消化器官には害となるような食物を胃に入れたりはない。彼らは不適応な飲食や衣服の習慣をほしいままにすることによって、神の財産をそこなうようなことはしない。神と協力して働くためには体を大事にしなければならないことを自覚し、体を本当に大切にす。神は彼らを健康に、幸福に、そして役立つ者にしたいと望まれます。しかし彼らがそうなるためには、彼らは自分たちの意志を神の側におかねばならない。」（家庭の教育 430）

4. だれが支配しているか

- a. 神は地上の財産に対して、だれに支配権を委ねられましたか（創世記 1:26-28）。なぜ、これは人類にとって栄誉なのですか（詩篇 8:1-9）。

「星空を高くすえ、野の花を巧みに飾りみ力の奇跡によって、驚くべきものを天地の間に満たされたおかたは、その輝かしいみわざの最後を飾るにあたって、人間をこの美しい世界の統治者としておたてになったが、それは生命の賦与者のわざに恥じないものであった。靈感によって与えられた人類の系図は、その起源を、細菌、軟体動物、四足獣などの進化の跡をたどるのでなくて、偉大な創造主に帰着させる。アダムは、土のちりで造られたが、『神の子』であった（ルカ 3:38）。」（人類のあけぼの上巻 18）

- b. アダムの墮落のゆえに、欺瞞者はキリストに対して何を誇りましたか（ルカ 4:5, 6）。
- c. いつ、この星に対するキリストの支配権は完全に回復されますか（ダニエル 7:13, 14, 26, 27; ミカ 4:8; 黙示録 11:15）。

「サタンが、この世の王国と栄華は 自分の手に渡されているのだから、自分は望むままにだれにでもこれを与えることができるのだと宣言したとき、彼の言ったことは一部分しか真実でなく、また彼は自分自身の欺瞞の目的に役立てるためにそれを宣言したのだった。サタンの主権はアダムから横取りしたものであったが、アダムは創造主の代理者だった。アダムの支配は独自の支配ではなかった。地は神のもので、神は万物をみ子におまかせになっていた。アダムはキリストの支配下にあつて統治するのであった。アダムが統治権をサタンの手に売り渡したときにも、キリストは依然として正当な王であられた。だから主は、ネブカデネザル王に、『……いと高き者が、人間の国を治めて、自分の意のままにこれを人に与え』と言われた（ダニエル 4:17）。」サタンは神のゆるしがあるときだけ、その横取りした権威を行使することができる。（各時代の希望上巻 143, 144）

「キリストは、預言者ダニエルが言っているように、天の日の老いたる者から、『主権と光栄と国』とを賜わるのである。彼は、『夫のために着飾った花嫁のように用意をととのえ』たみ国の首都、新しいエルサレムをお受けになる（ダニエル書 7:14、黙示録 21:2）。み国を受けたのちに、彼はご自分の民を救うために、王の王、主の主として栄光のうちに来られる。そして彼らは、天国で『アブラハム、イサク、ヤコブと共に宴会の席に』つき、小羊の婚宴にあずかるのである（マタイ 8:11、ルカ 22:30 参照）。」（各時代の大争闘下巻 143）

5. 管理職が委ねられる

- a. どの程度であれ一大きくても小さくても支配権がわたしたちに委ねられたときはいつでも、どの訓告に注意を払うべきですか（申命記 8:11-18）。

「わたしたちは自らを主の財産の管理者として、また神を最高の所有者として、すなわち、このお方がご自分のものを要求されるときには、わたしたちがお返しすべきお方としてみなすべきである。」（教会への証 4 巻 480, 481）

- b. 主が来臨なさる直前のこの最終時代に、どのメッセージに特別な力がありますか（ルカ 19:11-13）。

「神はわたしたちを僕と呼ばれるが、これはわたしたちがしかるべき働きをなすために、このお方によって雇われ、しかるべき責任を負っていることを示唆している。このお方はわたしたちに投資のための資本を貸し与えられた。それは、わたしたちの財産ではない。であるから、もしわたしたちが主の財産を蓄えて、自分たちの好きなように使うならば、神のご不興を買うことになる。……

主人に戻されたタラント一つ一つは、精細に調べられることになる。神の僕のなしたことや信任が重要でない事柄と見なされることはない。各個人は、個人的に扱われ、自分に委ねられたタラントを活用したか、もしくは濫用したかの会計報告を要求されることになる。タラントの活用按比例して報いが与えられる。濫用されたタラントには、それに従って刑罰が与えられる。……

タラントはわたしたちの手中にある。わたしたちはそれらを神の栄光のために用いるのであろうか、あるいはそれらを濫用するのであろうか。わたしたちは今日それらをもって取引をすることができるが、明日はわたしたちの恩恵期間が終わって、わたしたちの会計報告が永遠に決まるかもしれないのである。」（同上 2 巻 668〔筆者強調〕）

個人的な復習問題

1. わたしたちの創造主は、わたしたちを支えるお方でもあることを明らかにしている事実は何ですか。
2. なぜ、神だけが礼拝をお受けになるのにふさわしいのですか。
3. 神がすべてのものを所有しておられること、またこのお方が人間に地上の支配権をお委ねになったことを考えるとき、わたしたちはどのように応えるべきですか。
4. サタンの強奪した権威について何を理解すべきですか。
5. わたしたちが財産をゆだねられるとき、どのような誘惑がおとずれますか。

最高の与え主

暗唱聖句：「あらゆる良い贈り物、あらゆる完全な賜物は、上から、光の父から下って来る。父には、変化とか回転の影とかいうものはない。」（ヤコブ 1:17）

「神は愛である。太陽の光のように、愛と光と喜びは、神からすべての被造物に流れ出る。与えることが神のご性格である。神の生命そのものが無私の愛のほとばしりである。」（祝福の山 95）

推奨文献： 管理職への勧告 72
神の驚くべき恵 62

日曜日

10月2日

1. 神のご品性の特徴

- a. 人類に命をお与えになった後、そのほか神は何を備えてくださいましたか（創世記 2:7, 15）。なぜ、これがわたしたちにとって祝福のですか（伝道の書 5:12, 18）。

「アダムは怠惰ではなかった。創造されるやいなや、彼の仕事が彼に与えられた。彼は神が創造されたものを世話することに仕事と幸福を見出し、彼の労働に応じて、エデンの園の果物から自分の必要が豊かに満たされるのであった。」（両親・教師・生徒たちへの勧告 273, 274）

- b. わたしたちを愛する神の豊かな愛を日々表す証拠は、何ですか（詩篇 36:5-9; 使徒行伝 14:17）。

「わたしたちは存在している一瞬一瞬を、またあらゆる人生の慰めをも神に負っている。」（管理職への勧告 17）

「わたしたちは実のたわわになっている木々を、あたかも神がわたしたちの手中に実をおいてくださったかのように、神の賜物とみなすべきである。」（彼を掲げよ 62）

2. 神の最大の賜物

a. 何が神の最大の賜物ですか (ヨハネ 3:16; エペソ 2:4-7)。

「福音の宝であり、道であり、真理であり、命であるお方が〔ユダヤの人々〕の中におられたにもかかわらず、彼らは天からの最大の賜物を拒んでしまったのである。」(キリストの実物教訓 80)

「キリストはご自身の血という代価をもってわたしたちを買われた。このお方はわたしたちの贖いのために、代金を支払われた。であるから、もしわたしたちが宝を持つとしたら、それは神の無償の賜物によってわたしたちのものとなるのである。」(教会への証 9 卷 245)

b. 御父からご自分への賜物として、キリストはご自分に従う人々に、何を約束なさいましたか (ヨハネ 6:37-39; 17:24)。この事実は、なぜすべての人を勇気づけるべきなのですか (ヤコブ 1:17, 18)。

「どれほど神が人間を愛しておられるかを、わたしたちは決して量ることができない。宇宙はこのお方の計り知れない慈善の証拠で満ちている。

キリストは、この世のすべてに対して権利をもっておられる。『すべての事は父からわたしに任せられています』とこのお方は言われた (ルカ 10:22)。『父がお持ちになっているものはみな、わたしのものである』『わたしは、天においても地においても、いっさいの権威を授けられた』(ヨハネ 16:15; マタイ 28:18)。天地におけるすべてのものはこのお方に奉仕している。天の愛の偉大な賜物は、御父のふところに閉じ込められているべきではなかった。それはキリストに、困窮している人類に与えられるのであった。

キリストは恵みとまことに満ちておられる。このお方はすべてにおけるすべてであられる。そうであれば、人間は自分自身に栄光を帰さないようにしよう。栄光は神の御子に与えられるべきである。今もこれからも永遠に、このお方がすべての讚美をお受けになるべきである。」(バトル・クリーク・レター 65)

「われわれは天父の賜物であり、イエスの働きの報いであるから、イエスはわれわれを愛されるのである。イエスは、われわれをご自分の子として愛される。読者よ、イエスはあなたを愛される。天そのものは、イエスよりも偉大なもの、イエスよりもよいものを与えることができない。」(各時代の希望中巻 281)

「最も完全で、安心した、高尚な態度で、救いのためにイエスの愛に信頼することは、あなたの特権である。このお方はわたしを愛しておられる。わたしを受け入れてくださる。わたしはこのお方がわたしのために命を下されたがゆえに、このお方に信頼すると言うことがあなたの特権である。キリストの品性と接触することになることほど、疑いを晴らすものはない。」(牧師への証 517)

3. キリストとはだれか

- a. 天父を創造主として崇敬するときに、わたしたちはまたイエス・キリストについて何を理解すべきですか（ヘブル 1:1-3; ヨハネ 1:1-3）。

「もしキリストが万物を造られたのであれば、このお方は万物よりも先に存在しておられたのである。このことに関して述べている言葉は非常にはつきりしており、だれも疑いのうちに取り残されることはない。キリストは本質において、また最高の意味において、神であられる。このお方は永遠のとしえから神と共におられた。万物の神は永遠にほむべきかな。」（彼を掲げよ 16）

- b. 何に基づいて、キリストはわたしたちの礼拝を受け、わたしたちを弟子とする権利をもっておられるのですか（エペソ 3:9; ペリピ 2:5-10）。

「神が人に与える最高の賜物は、ご自分の愛する御子という賜物のうちに与えられた。『ご自身の御子をさえ惜しまないで、わたしたちすべての者のために死に渡されたかたが、どうして、御子のみならず万物をも賜わないことがあるのか』と使徒は言う（ローマ 8:32）。何一つ差し控えられてはいない。第二の恩恵期間が備えられることは決してない。もし神の言い尽くせない賜物が、人を悔い改めに導かないのであれば、その心を動かせるものは何もない。人の思いに働きかけて、彼の感受性を呼び覚ますための力は何一つ差し控えられていない。神のご品性がそのままその御子のうちに示され、天の全領域の可能性が無限のお方の御子のうちに人を受け入れるために表わされている。人が神と天にもどる道にはなんの障壁もない。比類のない救い主の愛の深さが示されてきた。そして、人の子らを受するこの神の愛の現れが、人を神ご自身に引き寄せる力を持たないならば、ほかに引き寄せるものは何もないのである。」（サイン・オブ・タイムズ 1889 年 12 月 30 日）

「使徒パウロは、聖霊の感動をうけて筆をとり、キリストについて、『いつさいのものは、御子によって造られ、御子のために造られたのである。彼は万物よりも先にあり、万物は彼にあつて成り立っている』（コロサイ 1:16, 17）と言明している。すべての世界を空間にささえ、宇宙の万物を整然たる秩序と倦むことのない活動の中に保つみ手は、われわれのために十字架に釘づけされたみ手である。」（教育 143）

4. 天の原則

- a. キリストの地上生涯の模範から、わたしたちはどのような基礎的な概念を学ぶべきですか（ルカ 22:27 下句；ヘブル 5:8；12:2, 3）。

「救いの計画の基礎は、犠牲のうちにしかれている。イエスは宮廷を去って、貧しくなられたが、それはご自分の貧しさを通して、わたしたちが富んだものとなるためであった。この救いにあずかるすべての人、神の御子によってこれほどの無限の犠牲をもって買われた人々は、真の型であられる模範に従うのである。キリストは隅のかしら石であられた。そしてわたしたちはこの基礎の上に建てなければならない。各自、自己否定と自己犠牲の精神を持たなければならない。地上におけるキリストの生涯は無我であった。それはへりくだりと犠牲に特徴づけられていた。そして人々は、すなわちイエスが彼らに与えるために天から来られた偉大な救いにあずかる人々は、自分たちの主に従うことや、このお方の自己否定と犠牲にあずかることを拒むのであろうか。」（教会への証 3 巻 387〔筆者強調〕）

- b. どのような意味において、わたしたちはキリストの犠牲の模範に喜んで従うべきですか（ペテロ第一 2:21；ローマ 12:1, 2）。

「キリストは、人が天を獲得することを可能にするために、すべてを犠牲にして下さった。今度は墮落した人類が、自分自身で不死の栄光を勝ち得ることができるように、キリストのために何を犠牲にするかを示す番である。救いとその代価の大きさをいくぶんでも正しく自覚している人々は、自分たちの種まきが涙のうちになされ、争闘と自己否定がこの世におけるクリスチャンの分だからといって、決してつぶやいたりはいしない。」（同上 481）

「〔キリストは〕ご自分の栄光、その支配権、富をわきへおき、罪のうちに滅びつつある人々を探し求められた。わたしたちを天にまで高めることができるように、このお方はわたしたちの必要にまで身を低くされた。犠牲、自己否定、そして私心のない慈善がこのお方の生涯を特徴づけていた。このお方はわたしたちの型であられる。……あなたはこの型であるお方を模倣してきたのであろうか。」（同上 2 巻 549）

『あなたがたは、……自分自身のものではない』『あなたがたは、代価を払って買いとられたのだ』（コリント第一 6:19, 20）という言葉、記憶の間に掛けておき、いつもわたしたちのタラント、財産、感化力、そしてわたしたち個々人そのものに対するこのお方の権利を認めることができるようにすべきである。わたしたちは、キリストの買われた所有物として、このお方に健全で芳しい奉仕をなすことができるように、思い、魂、体における神のこの賜物をどのように扱うかを学ぶべきである。」（医事伝道 276）

5. 与えられた恵み

- a. 恵みとは何ですか—そして、それはなぜわたしたちの救いに不可欠のですか(ローマ 5:6-9; エペソ 2:8, 9)。

「恵みとは価しない恩寵であり、信じる者は自分自身の何の功績もなく、また神にお捧げすると主張できる何ものもなく、義認される。彼はキリスト・イエス、すなわち罪人の身代わりかつ保証人として天の宮廷に立っておられるお方のうちにある贖いを通して義認される。」(セクレット・メッセージ 1 巻 398)

「〔救い主の〕恵みは罪を征服するのに十分である。」(信仰によってわたしは生きる 87)

- b. わたしたちは神の豊かな恵みに対して、どのように答えるべきですか(エペソ 2:10; テトス 2:11-14)。

「よいわざには、本当の価値がないのであろうか。毎日罰せられることなく罪を犯す罪人は、キリストを信じる信仰を通して、誠実にわざを行おうと努力している人々と同じ恩寵をもって見られているのであろうか。聖書は、次のように答えている。〔エペソ 2:10 引用〕。

主はご自分の神聖な取り決めのうちに、その価しない者への恩寵を通して、よいわざが報いられるように定められた。わたしたちはただキリストの功績を通してのみ受け入れられる。わたしたちのなす憐れみの行為、愛の行いは、信仰の実である。そして、それらはわたしたちにとって祝福となる。なぜなら、人は自分のわざに従って報いられることになるからである。

わたしたちの良いわざを神に受け入れられるものとするのは、キリストの功績の香である。そして、神がわたしたちに報いて下さる働きをなすことができるようにするのは、恵みである。」(セクレット・メッセージ 3 巻 199, 200)

「あなたのすべてのよいわざは、あなたを救うことができない。しかし、それにもかかわらず、よいわざなくして、救われることも不可能である。キリストのために払われる犠牲の一つ一つは、あなたの永遠の利益となる。」(同上 147)

個人的な復習問題

1. エデンのときより神から与えられている単純な賜物をいくつかあげなさい。
2. 神の最大の賜物は、どのように相互関係に関わりますか。
3. キリストが実際にどなたであるかを理解することは、なぜ重要なのですか。
4. 救いの計画全体の土台となっている原則は何ですか。
5. 天国のための準備の際、恵みは贖われた人々にどのような力を与えますか。

すべてを祭壇の上に

暗唱聖句：「心をつくし、精神をつくし、思いをつくし、力をつくして、主なるあなたの神を愛せよ。」（マルコ 12:30）

「全存在一心、魂、思い、力ーが、神の奉仕に用いられるべきである。神に捧げられずに残っているものは何であろうか。」（ビュー・アンド・ヘルド 1900 年 11 月 6 日）

推奨文献： 初代文集 432-436

日曜日

10 月 9 日

1. 奉仕のための動機

a. キリストに従うと公言する多くの人々は、弟子の身分のどのような局面について、しばしば見逃していますか（マルコ 8:34; ヨハネ 15:19, 20）。

「〔キリストの〕 おどろくべき欠乏を模倣し、このお方の苦しみと迫害を耐え、他の人々に光をもたらすための骨折りの働きにあずかろうと望んでいる者はほとんどいない。しかし、わずかな者は、この生涯の試練に耐え、日ごとの務めを果たすための力を求めて、熱心にしばしば神に祈る模範にしたがうであろう。」（教会への証 2 巻 664）

b. 真の奉仕と偽の奉仕は、どのように対照的ですか（ヨブ 31:24-28; 29:11-16）。なぜ、わたしたちは自分たちの動機を再度、吟味しなければならないのですか。

「多くの者は、世のごみが魂の水路を詰まらせている。利己心が思いを支配し、品性をゆがめている。キリストと共に神のうちに命が隠されているならば、このお方の奉仕は、骨折り仕事ではない。もし心を尽くして神に献身しているならば、だれでもなすべきことを見出し、働きに参加することを切望するはずである。彼らはすべての水のほとりにまき、実りがあるように祈り、信じるはずである。」（ビュー・アンド・ヘルド 1878 年 12 月 19 日）

2. キリストの教えの基調

- a. 今日、キリストご自身とこのお方の多くの自称信徒の間には、どのような残念な対比が存在しますか（ピリピ 2:5-8, 21）。

「救いの計画は非常に広く、深く、高いために量りがたい犠牲のうちに立てられた。キリストはご自分が天に残られたまま、この墮落した世界にご自分の御使を送られたのではなかった。そうではなく、ご自身が宿営の外に出られて、非難に耐えられた。このお方は悲しみの人、病を知っている人となられた。ご自身がわたしたちの悪を引き受けられ、わたしたちの弱さを負われた。であるから、このお方に従うと公言する人々のうちに自己否定がないとき、神はクリスチャンの名を否定することとみなされる。キリストと一つであると公言しながら、富や高価な衣服や家具や食物を求める利己的な願望にふける人々は、名前だけのクリスチャンである。クリスチャンであるということは、キリストに似ているということである。

しかし、使徒の言葉はなんと真実なことであろう。『人はみな、自分のことを求めるだけで、キリスト・イエスのことは求めていない』（ピリピ 2:21）。多くのクリスチャンには、自分たちの帯びている名にふさわしいわざがない。彼らは無限の代価を払って果たされた贖いの計画を全く聞いたことがないかのように行動する。大多数はこの世で自分自身の名を上げることを目指す。彼らは世の形式や儀式を適用して自己放縦のために生きる。彼らは世と同じように、自分自身の目的を追い求め、こうして神の王国を設立するのを助ける自分たちの努力をやめてしまうのである。」（管理職への勧告 54）

- b. キリストは、今日ご自分に従うすべての人々に、どのような天の原則を課されましたか。それは、なぜですか（マタイ 16:24-26）。

「きよめの祝福を受けようとする人たちは、まず自己犠牲の意味を学ばなければならない。キリストの十字架は、『永遠の重い栄光』のかかる支柱である（コリント第二 4:17）。〔マタイ 16:24 引用〕。神に対するわれわれの愛を示すものは、同胞に対するわれわれの愛のかおりである。魂に休息をもたらすのは、奉仕における忍耐である。」（患難から栄光へ下巻 263）

「わたしたちは、人類が永遠の命を持つことができるように、十字架の死にご自分を渡すまで〔キリスト〕を導いたのと、同じ自己犠牲を実践すべきである。」（教会への証 9 巻 49）

3. 使徒から学ぶ

a. 男女の魂を思う使徒パウロの熱心な愛の秘訣は何でしたか（コリント第二 4:15-18; 5:14, 15）。

「キリストがこれほどの犠牲を払われた人々が、どうしてこのお方の賜物を利己的に楽しみ続けることができるのであろうか。このお方の愛と自己否定は比類のないものである。そしてこの愛がこのお方に従う人々の経験に入るとき、彼らは自分たちの関心を、贖い主の関心と同一にする。彼らの働きは、キリストの王国を築くこととなる。彼らは自分自身と自分の財産をこのお方にお捧げし、どちらもこのお方のみ事業が要求する通りに用いるのである。」（管理職への勧告 55）

「魂の中にあるイエスの愛は、言葉や行いに表れる。キリストの王国が何にもまして重要なものとなる。自己は神の祭壇の上に自発的な捧げ物として置かれる。真にキリストと一致しているすべての者は、神の御子とその王座と高い指揮権を後にされた愛、またわたしたちがご自分の貧しさを通して富んだ者となれるために貧しくなられたのと同じ愛を、魂のために感じるのである。」（同上）

b. 使徒ヨハネは、どの傾向について、信徒たちに警告していますか。また、これはどのようにわたしたちに当てはまる可能性がありますか（ヨハネ第一 2:15-17）。

「クリスチャンだと公言している者として、わたしたちは何をしているのであろうか。魂はわたしたちの周りの至る所に、わたしたちの家庭の近くに、また遠くにいて、その罪のうちに、警告も受けず、顧みられることもなく、滅びつつある。毎日、わたしたちはこの世で希望もなく神もない人々のそばを歩き、一度もわたしたちの唇を彼らにキリストとその愛について語るために開いたことがない。世の夢中にさせるものが、男女を魔法にかけている。……キリストの十字架の兵士は、神が働いて下さるように、すなわち、このお方の力が人間の代理人に協力して人々にそのいるところで伝えることができるように祈りをもって天を動かしているべきである。」（原稿リ-ス 8 巻 95）

「多くの人がすべての生涯の取り除かれるまで待っているあいだに、世では希望もなく神もない魂が死につつつある。多くの、実に多くの人が、世俗的な利点のために、また科学の知識を習得するために、あえて疫病の地域に入っていく、自分たちが商業的な利益を得られると思う国々へと入っていく。しかし、自分たちの模範のうちにキリストが現れていることを人々が見て、影響力を及ぼすことができるように、真理の光を必要としている地域へ、住まいを変える人々、自分たちの家族を移す男女はどこにいるのであろうか。」（管理職への勧告 56）

4. 純潔な、満足した慈悲深い心

- a. キリストの僕として、わたしたちの信仰は、何に特徴づけられているべきですか、なぜですか (エペソ 6:6-8)。

「尊い、不朽の嗣業が、地上の価値のない宝によって覆い隠される危険性はないであろうか。あなたの有用さが損なわれ、あなたの信仰が弱められ、あなたの魂の宮が売買人で汚される危険性がある。」(レ・ユー・ア・ド・ヘラルド 1888 年 6 月 19 日)

- b. キリストは、ご自分の公生涯の間、なぜ第十条を繰り返されたのですか (出エジプト記 20:17; ルカ 12:15)。利己心という恐ろしい罪を克服することを可能にするための神の治療法は何ですか (コリント第一 15:31)。

「キリストがわたしたちの模範であられる。このお方はわたしたちのために命を犠牲として下さった。そして、このお方はわたしたちに自分たちの命を他の人々の犠牲として与えるように求められる。こうして、わたしたちはサタンが絶えず心に植えつけようと腐心している利己心を追い出すことができる。この利己心はすべての敬神にとって死であり、神への愛とわたしたちの同胞への愛を表すことによるのみ克服することができる。キリストは利己的な人を一人として天の宮に入ることを許されない。貪欲な人はだれも真珠の門をくぐることはできない。なぜなら、すべての貪欲は偶像だからである。」(管理職への勧告 26)

「継続的な自己否定の慈善は、利己心と貪欲という蔓延する罪に対する神の治療法である。神はご自分のみ事業を支え、苦しむ人や困窮している人々の必要を救援するために、組織だった慈善を取り決められた。このお方は与えることが習慣となるべきことを定め、こうして危険な欺きの罪である貪欲を阻止できるようになされた。絶えず与えることは、貪欲を餓死させる。組織だった慈善は神の取決めの中で、貪欲な人が宝を得たときと同じくらいすみやかにその宝をその人から引き離し、主に、すなわち、それらの宝の属しているお方にお捧げするようにと計画されている。……

富は人を利己的にし、蓄えることは貪欲を養う。そして、これらの悪は実際に働かせることによって強まる。神はわたしたちの危険を知っておられ、わたしたちを自分自身の破滅から守るための手段をもってとり囲んで下さった。このお方は慈善を絶えず実行するように要求なさる。こうして良いわざをなす習慣の力が反対方向への習慣の力を打ち破ることができるためである。」(教会への証 3 巻 548)

5. 完全な服従

- a. マケドニアにおける初期のクリスチャンたちの模範によって、わたしたちはどのような励ましを受けることができますか（コリント第二 8:1-5）。

「マケドニアの信者たちは、ほとんどすべて、この世の財産は乏しかったが、彼らの心は、神と神の真理に対する愛に燃えていた。そして彼らは、福音を支えるために喜んでささげた。ユダヤの信者たちの救援のために、異邦人教会において広く献金が集められたときに、マケドニアの改心者たちの物惜しみしない精神が、他の教会の模範として掲げられた。」（患難から栄光へ下巻 23）

- b. キリストは信徒としてのわたしたちの義務をどのように要約なさいましたか（マルコ 12:29-31）。わたしたちがこの原則を日常生活の中に持ち込むときに、何が起きますか（マタイ 7:24, 25）。

「存在全体が、主人の奉仕のために捧げられるべきである。」（世界総会冊子 1901 年 4 月 16 日）

「だれも、言葉では決して表現できないことを自覚しない限り、本当にキリストと一つになり、このお方の教訓を実践し、このお方の抑制のくびきに服することもできない。新しく豊かな思想が彼にもたらされる。知性に光が、意志に決意が、良心に敏感さが、想像力に純潔さが与えられる。心はもっとやわらかく、思いはもっと靈的になり、奉仕はもっとキリストのようになる。その生活には、言葉では表現できないこと一心、思い、魂、そして力の、主人のみ働きへの真実で忠実な愛の献身が見られる。」（教会への証 6 巻 476, 477）

個人的な復習問題

1. ヨブの生涯は、どのようにキリストの御霊を反映していましたか。
2. もし勝利者になりたいならば、わたしたちはどのような一般的な傾向を克服しなければなりませんか。
3. 永遠の価値を培うことについて、パウロとヨハネはわたしたちに何を教えていますか。
4. なぜ、貪欲はわたしたちの魂にとって、それほど有害なのですか。
5. 心を尽くした奉仕は、この地上生活においてさえ、どのように報いられますか。

主に対してするように

暗唱聖句：「すべてわたしの愛している者を、わたしはしかったり、懲らしめたりする。だから、熱心になって悔い改めなさい。」（黙示録 3:19）

「神から与えられた恩典はみな、もっと熱烈な精神をもち、活発に努力して、神のみ旨の遂行を活発に行なうための神の手段である。」（人類のあけぼの上巻 425）

推奨文献： 文書伝道 154, 155

日曜日

10月16日

1. 必要とされている新しい態度

- a. わたしたちは、つぶやきや二心の奉仕に対するキリストの警告から、何を学ぶべきですか（マタイ 25:14, 15, 18, 24-30）。

「どれほど多くの人々が、一タラントの僕が考えたように、主はきびしい方で、おあずけにならなかったものを取りたて、おまきにならなかったものを刈る方だと感じていることであろう。この見解は、悪い僕の妄想にすぎない。なぜなら、わたしたちの持っているもので、受けなかったものがあるであろうか。『すべての物はあなたから出ます。われわれはあなたから受けて、あなたにささげたのです』（歴代志上 29:14）というのが、わたしたちの感謝の心の言葉であるべきである。」（ビュー・アンド・ヘルド 1888 年 6 月 12 日）

- b. 地上歴史のこの終わりの時代に、キリストのどの訓告が、特別な力をもってあてはまりますか（マタイ 24:12; 黙示録 2:4）。

「教会員は、各々わたしたちの信仰の敵が、自分たちの命のない背信の状態に対して勝利するすきを与えることがないように、用心して心を配るべきである。ある人々は、小さな自己否定、真剣さ、熱心さがあれば、善のために力を持つことができはずのときに、自分たちの感化力を無駄にしてきた。この熱心さは、努力や真剣な苦闘なしにはもたらされない。」（教会への証 5 巻 287）

2. 熱心一求めるべき資質

- a. 聖書は、神への熱心さの命に関わる重要性について、どのように表現していますか（詩篇 42:1; 84:2）。もしこの資質がわたしたちのうちに欠けているとすれば、それをどのようにして得ることができますか（エレミヤ 29:13）。

「自分たちのバプテスマの誓いに対して真実であるという確固たる証拠を見せない人が多い。彼らの熱心さは、形式主義と世的な野心、誇り、自己愛によって凍りついている。ときどき、彼らの感情はかき立てられるが、彼らは岩なるキリスト・イエスの上に落ちて砕かれない。彼らは悔い改めと告白のうちに砕かれた心をもって神のみ許へ来ない。心のうちに真の改心の働きを経験する人々は、自分たちの生活に御霊の実をあらわすようになる。」（教会への証 9 卷 155）

「わたしたちの衰えた熱心さと弱った霊性のために、断食とへりくだりと祈りが必要である。」（同上 4 卷 535, 536）

- b. キリストのようにになりたいと切望するすべての人のために、どの約束がありますか（マタイ 5:6）。ヤコブの経験が、なぜわたしたちにとって、それほど価値があるのですか（創世記 32:24-30）。

「神は敬神、自己否定、自己犠牲、人への同情、そして神への熱心を探し求めておられる。このお方は人のうちに、自分の同胞を不信仰と破滅から救いたいという魂の深い切望を見たいと待ちわびておられる。」（サインズ・オブ・タイムズ 1899 年 2 月 15 日）

「わたしたちが受ける特権を受けてきた大いなる真理があるのだから、光の生ける媒介となるべきであり、聖霊の力の下に、そうなることができる。そのとき、わたしたちは恵みの座に近づくことができる。そして約束の虹を見て、悔いた心でひざまずき、自ら報いをもたらさずにはおれない霊的な激しさをもって、天の王国を求めなさい。わたしたちはヤコブがしたように、それを力づくで奪い取らなければならない。そのとき、わたしたちのメッセージは救いに至る神の力となるのである。」（キリストを映して 217）

「ただひとり密室にはいって『神よ、わたしのために清い心をつくり、わたしのうちに新しい、正しい霊を与えてください』と神に祈らねばならない（詩篇 51:10）。熱心に、誠実に祈らねばならない。熱烈な祈りには大きな力がある。ヤコブのように祈りのうちに格闘し、苦悶しなければならない。ゲッセマネの園のイエスは血の汗を流された。わたしたちも努力しなければならない。神からの力を感じるまでは密室を去ってはならない。目をさましていなければならない。目をさまして祈っているかぎり、罪への誘惑を抑える事ができ、また神の恩恵はわたしたちの内に現われることができる。」（青年への使命 126）

3. 行動における熱心さ

- a. 神のための忠実な証人が耐えた苦闘とかち得た勝利から、何を学ぶことができますか (エレミヤ 20:8-11; 使徒行伝 4:14-20)。

「エレミヤのメッセージに対する反対があまりにも強く、あまりにもしばしば冷笑され、あざけられたために、彼は『主のことは、重ねて言わない、このうえその名によって語る事はしない』と言った (エレミヤ 20:9)。これまでもこのようであった。譴責のうちに語られる神のみ言葉に対して、苦々しさ、憎しみ、反対が表されるので、他の多くの神の使命者たちはエレミヤが決心したように決心した。しかし、この主の預言者は自分が決心した後で、何をしたであろうか。できる限り努力したが、彼は黙っていることができなかった。人々の集会に入るや否や、彼は主の御霊の方が、彼よりも強いことを発見した。」(パウル・コメンタリ [E. G. 著] コメント 4 巻 1156)

「神とそのみわざに対する熱意が弟子たちを動かし、偉大な力を発揮して福音をあかしさせた。われわれも同じ情熱を心に燃やし、あがないの愛の物語を、キリスト、しかも十字架につけられたキリストの物語を語る決意をすべきではないだろうか。救い主の来臨を待ち望むばかりでなく、これを早めることがすべてのクリスチャンの特権である。」(患難から栄光へ下巻 308)

- b. わたしたちのうちに、どの種類の経験が、こだましなければなりませんか (詩篇 119:137-140; ヨハネ第一 3:1-3)。

「ラフボロウ長老は、み事業における熱心な働き人であった。彼は働きに心を尽くした。彼は、……働きの新しい領域に入り、喜んでもっともつつましい地位に身をおき、ありとあらゆる欠乏に耐え、儉約し、安く貧しい生活を送り、始まったばかりのみ事業のために早くから遅くまで労した。」(原稿リ-ス 21 巻 246)

「わたしたちは永遠の世界の瀬戸際に立っている。なぜなら、悪がはびこり、多くの人の愛が冷えているからである。この代わりに、神への愛、純潔、真理、聖潔への愛が、わたしたちの心の中で増し加わっているべきである。わたしたちの周りの悪の増加が、わたしたちのうちにもっと真剣な熱心さと、もっと強い決意を目覚めさせるべきである。」(ビュー・アンド・ヘラルド 1881 年 11 月 29 日)

4. 誤って導かれた熱心さを避ける

- a. 誤って導かれた熱心さを通して、わたしたちが墮落するかもしれない道に、どのようなものがありますか（ローマ 10:1-3; コリント第一 10:23）。

「御霊と神の力に欠けている人が、新しい伝道地に入ると、人気ある諸教会の矛盾を提示することによって、真理の民を説得できると考えて、他の宗派を非難し始める。ある場合にはこれらのことを語る必要があるかもしれないが、たいていの場合、それはわたしたちの働きに対する偏見を生じさせ、そうでなければ真理を聞いたかもしれない多くの人々の耳を閉ざすだけである。もしこれらの教師たちがキリストに近く結びつくならば、どのように民に近づくべきかを知る神聖な知恵を得るのである。」（教会への証 4 巻 536）

- b. エヒウの誤った熱心さは、何がいけなかったのですか（列王記下 10:16-19, 28-31）。

「自分の宗教が活動から成っている人々が多くいる。彼らは携わりたいと願い、何か大きな働きをなして称賛されるが、その一方で美しいクリスチャン品性を築くために出ていく小さな恵みはまったく見過ごされている。忙しく慌ただしい奉仕は、その人が何かすばらしい働きをしているかのような印象を与えるが、神には受け入れられない。それは、『わたしと一緒にきて、わたしが主に熱心なのを見なさい』と言ったエヒウの精神である。それは自己を喜ばせ、自己満足の気持ちを養う。しかし、その間ずっと魂は、征服も支配もされていない利己心という疫病のしみによって汚されているかもしれないのである。」（*ザインズ・オブ・タイムズ* 1884 年 11 月 20 日）

「クリスチャンの熱心さは原則によって支配されるものであり、突発的ではない。それは真剣で、深く、強いもので、魂全体を働かせ、道徳的知覚力を働かせるために目覚めさせる。魂の救いと神の王国の利益が、最高に重要な問題である。……クリスチャンの熱心さは、話だけに尽きてしまうことなく、活力と効果をもって感じ、活動する。しかし、クリスチャンの熱心さは、見られるために活動することはない。へりくだりが、努力の一つ一つに、働きの一つ一つを特徴づけている。クリスチャンの熱心さは、真剣な祈りとへりくだりへと導き、家庭の義務における忠実さへと導く。家庭の輪の中で、優しさと愛、慈善と同情が見られるが、これは変わらないクリスチャンの熱心さの実である。」（教会への証 2 巻 232, 233）

5. キリストの模範

- a. 信心深い熱心さについての詩篇記者の預言は、どのようにキリストのうちに成就しましたか（詩篇 69:9; ヨハネ 2:13-17; 4:34）。キリストの熱心さから、わたしたちはどの要素を学ぶべきですか（コリント第一 2:2-4）。

「〔キリストは〕律法を生きられた。このお方の純潔と善行、このお方の真理への献身、神の栄光のための熱心さは、律法の完全さを表している。」（ビュー・アンド・ハルド 1901 年 2 月 26 日）

「キリストは御父のみ旨を行うことが、ご自分の肉であり、飲み物であると宣言された。このような真理の聖化を通してもたらされる熱心さは、真理を信じる信徒を力強くする。なぜなら、彼は聖なる真理の保管箱であり、真理にあずかるにつれ、役立つクリスチャンとなるからである。熱心さはいつも変わらず、品性の聖潔を表すべきである。」（原稿リス 10 巻 131）

- b. ラオデキヤの生ぬるい時代に生きている一人びとりに対して、キリストはどのような訴えをしておられますか（黙示録 3:19）。

「神の奉仕ということになった場合、人々は、かつて世の奉仕においてあらわしていたような同じ熱心さを、このお方の働きのためにあらわすであろうか。」（ビュー・アンド・ハルド 1888 年 6 月 12 日）

「この時代、すなわち、万物の終わりが近づいているときに、教会の熱心さは初期の教会の熱心さを上回るべきではないだろうか。神の栄光のための熱心さは、強力な力をもって真理のための証を担うために、弟子たちを動かした。この熱心さは、キリスト、しかも十字架につけられたキリストの贖いの愛の物語を語りたいとの切なる願いでわたしたちの心を燃やすべきではないだろうか。神の力が今日、使徒たちの時代以上にさえも力強く表されるべきではないだろうか。」（教会への証 7 巻 33）

個人的な復習問題

1. タラントの譬から、わたしたちはどの警告に注意を払うべきですか。
2. ヤコブの経験のどの面が、わたしたちのものともなるべきですか。それはなぜですか。
3. エレミヤ、ダビデ、また初期の使徒たちから、わたしたちはどのように学ぶべきですか。
4. どのように、わたしたちは誤って導かれた熱心さの症状を示しているかもしれませんか。
5. 本物の熱心さの特徴は何ですか。

一時と永遠

暗唱聖句：「行って、『天国が近づいた』と宣べ伝えよ。」（マタイ 10:7）

「時は短いだから、わたしたちは勤勉さと二倍の精力をもって働くべきである。」
（教会への証 3 巻 159）

推奨文献： キリストの実物教訓 317-322

日曜日

10 月 23 日

1. すべての人のためのタラント

- a. わたしたちが生存しているこの性急な時代にあってさえ、神はあわれみ深くも、何をそなえてくださっていますか。また、それはなぜですか（伝道の書 3:1）。

「わたしたちの時は、神に属するものである。一瞬、一瞬が神のものである。そして、わたしたちには、その時を神の栄光のために活用するように、きわめて厳粛な責任が負わせられている。神がお与えになったたまものなかで、わたしたちの時間ほどに厳密な説明が求められるものは他にないのである。……

永遠のために備えをすべき恵みの日は、ほんのわずかしかない。浪費したり、自己の快樂のために用いたり、罪にふけったりする時間はない。将来の永遠の命のために品性を形成するのは、今である。厳密な審判の時の備えをするのは、今である。」（キリストの実物教訓 317, 318）

- b. わたしたちが時間の用い方を計画するとき、どのような要素を考慮すべきですか（ヤコブ 4:13-15）。

「時の短さは、現代の真理を信じると主張している人々の間で目覚めたことのない精力を要求している。」（健康についての勧告 506）

「もしすべての人が、自分の時間を最高の方法で用いるならば、かなり多くの財源が、真理のみ事業のために蓄えられる。働きに心を込めるとき、それは熱心さと精力と敏速さをもってなされる。」（教会への証 4 巻 451）

2. 慎重さと警戒

- a. 神のみ働きを前進させるために努力するとき、わたしたちは何を悟らなければなりませんか（ペテロ第一 5:8; 黙示録 12:12）。

「わたしたちは一刻の猶予もならない。闇の力が集中的な精力をもって働いており、サタンはおおかみが獲物を奪うように、いま眠っている人々を奪おうと忍び足で進み寄っている。わたしたちは今与えることのできる警告をもっており、今なすことのできる働きがある。しかし、まもなく想像よりもそれが難しくなる。」（伝道 218）

「ああ、わたしたちはすべての魂に対して、勝ち取るべき天国があり、避けるべき地獄があることを、おそろべきほど真剣に強調しなければならない。魂のすべての勢力は、自分たちの道を強化し、力づくで王国をつかむために目覚めさせられねばならない。サタンは活発であるから、わたしたちも活発でなければならない。サタンは倦むことなく、辛抱強いので、わたしたちも同様でなければならない。自分たちの背信のために、言い訳をしたり、人を責めたりしている場合ではない。もし状況がほんの少しでも恵まれていたならば、わたしたちが神のみ働きをなすのに、どれほど良かったことであろう、たやすかったことだろうと都合よく魂に思いこませている場合ではない。わたしたちはキリストを信じると公言している人々に対してさえ、罪深い言い訳によって神に対して罪を犯すのをやめなければならないと告げなければならない。」（原稿リ-ス 12 巻 n 336）

- b. わたしたちの前にある苦闘について、靈感は何を教えてくださいか（エペソ 6:12; マタイ 24:13）。

「時の短さを考えるとき、わたしたちは民として見張り、祈るべきであり、どのようなことがあっても、わたしたちの前にある大いなる出来事のための準備という厳粛な働きからそらされてはならない。一見、時が延ばされているからといって、多くの人々は、自分たちの言葉や行動に関して、不注意かつ無関心になっている。彼らは自分たちの危険を自覚せず、将来の不死の命のために品性を築く時間を得ることができるよう、彼らの恩恵期間を長くされたわたしたちの神の憐れみを認めてもいなければ、理解もしていない。一瞬一瞬に最高の価値がある。時が彼らに与えられているのは、自分自身の安逸を研究したり、地上の住民になったりするのに用いるためではなく、自分自身の品性にある一つ一つの欠点に打ち勝つ働きに用いるため、また模範と個人的な努力によって、他の人々が聖潔の美しさを見るのを助けるためである。」（教会への証 4 巻 306, 307）

「時の終わりに至るまで、熱心さと精力を集中させて、わたしたちは主の働きを進めるべきである。」（両親、教師そして生徒への勧告 548）

3. 役立てられた資源

- a. わたしたちの主人が、わたしたちにゆだねられたさまざまなタラントについて、理解させたいと望んでおられるのは、どのような点ですか（ルカ 19:13）。

「個人個人だれでも自分の財産がどれほど大きかろうと小さかろうと、あずかっているものにすぎないことを覚えていなさい。自分の力、技能、時間、タラント、機会、そして資金のために、人は神への会計報告を提出しなければならない。これは個々人の働きである。神はわたしたちに与えて下さるが、それはわたしたちが他の人々に与えることによって、ご自分のように寛容で気高く、慈善に富んだ者となるためである。自分の神聖な使命を忘れて、誇りと利己心にふけるために蓄え、費やすことしか求めない人々は、この世の利益や楽しみを得ることはできるかもしれない。しかし、神の御目には、彼らの霊的な到達度によって量ると、貧しい者、みじめな者、あわれむべき者、目の見えない者、裸な者なのである。」（管理職への勧告 22）

「わたしは、キリストの生涯において、このお方が遊びや娯楽にご自分の時間を費やされた例を見出すことができない。このお方は現在と未来の生涯のための偉大な教育者であられる。しかし、わたしは身体的な運動をするために、ご自分の弟子たちに娯楽に携わるようにとお教えになった例を一つも見出すことができない。世の贖い主は、一人ひとりにその人の働きをお与えになり、このお方に命じられる、『わたしが帰って来るまで、これで商売をしなさい』（ルカ 19:13）。こうすることによって、心は事業に熱が入る。存在の力がことごとく、従うための努力に用いられるべきである。わたしたちには、高く聖なる召しがある。」（両親、教師そして生徒への勧告 309）

- b. ソロモンの経験から、わたしたちは何を学ぶべきですか（伝道の書 2:10, 11）。

「注意をひく、多くの話題を避けなければならない。時間を取り、せんさく心を起させ、しかもその結果のむなしい問題が世の中には多く、比較的つまらぬことに細心の注意と努力を払うことがよくあるが、それは最高の問題に対して払うべきものである。」（ミストリー・オブ・ヒーリング 438）

「あなたが有用性と義務のために、また魂の救いのために心を用いていることが人々にわかるようにしなさい。時間を消費し、自己に栄光を帰すだけの娯楽は、わりにあわない。」（医事伝道 82）

「いま安っぽく朽ちるものに費やされている精力は、世を啓発するための働きに用いられるべきである。神が与えてくださったすべての精力が、現世と永遠のための祝福された満足を伴っている働きに用いられるようにしなさい。」（原稿Ⅱ-ス6 巻 267）

4. 買われた財産

- a. なぜ愚かな金持ちの態度が、わたしたちにとって警告なのですか（ルカ 12:16-21）。

「神の民だと公言する人々の側で、悲しむべき神に対する出し惜しみがある。キリストに捧げられるべき資金と努力が、自己を喜ばせるために捧げられている。神は時間、金銭、奉仕を盗まれている。自己愛、自己満足が、魂からイエスの愛を締めだしており、これが教会にもっと大きな熱心さと、わたしたちを初めに愛して下さったお方へのもっと熱い愛がない理由である。」（サインズ・オブ・タイムズ 1890 年 12 月 22 日）

「人々はあたかも理性を失ってしまったかのように行動する。彼らはこの世の生活のわずらいに埋没している。彼らには神に献身する時間も、このお方にお仕えする時間もない。仕事、仕事、仕事というのが、一日の順番である。彼らには、ただ無理な計画に基づいて働くこと、大きな農場を運営することが要求される。自分たちの財産をしまっておくために、壊しては、もっと大きなものを建てるというのが彼らの野心である。しかし、まさに自分たちの富のために腐心している人々が、キリストに従う人々として、まかり通っている。彼らは名目的には、キリストがまもなく来られること、万物の終わりが間近であることを信じている。しかしなお、彼らには犠牲の精神がない。彼らはますます深く世に沈みつつある。彼らは命の言葉の研究や瞑想、祈りのために、自らほとんど時間を取ることを許さない。また、家族の他のものにも、あるいは彼らに仕える人々にも、この特権を与えない。しかしなお、これらの人々はこの世は自分たちの住まいではなく、地上では単によりよい国へ移るための準備をしている旅人であり、寄留者にすぎないことを信じると公言する。すべてこのような人々の例と感化力は、神のみ事業にとってのろいである。むなしい偽善がクリスチャンだと公言する彼らの生活の特徴づけている。彼らは、自分たちのわがが示す分だけ、神と真理を愛しているのであり、それ以上ではない。人は自分の持っている信仰を行動で示すだけである。」（教会への証 2 巻 662, 663）

- b. わたしたちの思いにおいて、何がいつも一番先にくるべきですか（コリント第一 3:23; 6:20）。

「わたしたちが神に捧げても捧げなくても、思いと魂と力はみな神に属している。神は人類一人びとりに、次のように語りかけておられる。『わたしはあなたに対して要求するものがある。あなたの熱心さ、能力、精力、資金をわたしに与えなさい』。このお方には、これを求める権利がある。なぜなら、わたしたちはこのお方の無限の愛によって、またカルバリーの十字架の苦しみによって、罪の奉仕から贖われた、このお方のものだからである。」（サインズ・オブ・タイムズ 1901 年 1 月 2 日）

5. 後の雨のために準備する

- a. 各々、何を自覚することによって、行動を起こすべきですか（コリント第二 6:2; マタイ 10:7）。

「わたしたちは、キリストのみ事業において、はるかに大きな真剣さを必要としている。真理の厳粛なメッセージを非常な熱心さで伝え、それによって、神がわたしたちの努力と共に働いておられること、またわたしたちの生ける力の源はいと高き者であられることが不信者に印象づけられるべきである。……

この無関心が年々続くのであろうか。サタンがいつも勝利し、キリストはいつもご自分が無限の代価をもって贖われた僕たちに失望なさるのであろうか。わたしたちは後の雨が注がれる時を待ち、教会が上よりの力を授けられ、それによって神のためのもっと効果ある働きにふさわしいものとされる、より良き日を望んでいる。しかし、後の雨は、神からすでに与えられている力を用いていない怠惰な魂を回復させ、活気づけるために与えられることは決してない。霊的な怠惰によって、神により近づくことはない。わたしたちのすべてのわざに織り込まれた献身と個人的な敬神と同様、活力と熱心さがなくてはならない。」（サインズ・オブ・タイムズ 1886 年 12 月 9, 1886.

- b. 今日、わたしたちのための神の召しは何ですか（イザヤ 60:1, 2; マタイ 5:14-16）。

「働いている教会は、生きている教会である。教会員は、光が輝き出るままにしなさい。あなたの声がへりくだった祈りのうちに、この世の不節制、愚行、娯楽に反対する証のうちに、またこの時代のための真理の宣布のうちに聞かれるようにしなさい。あなたの声、あなたの感化力、あなたの時間—これらはみな、神からの賜物であり、キリストに魂を勝ち取るために用いられるべきである。あなたの隣人を訪ね、彼らの魂の救いへの関心を示しなさい。すべての霊的な精力が活動に目覚めるようにしなさい。訪問した人々に、万物の終わりが近づいていることを告げなさい。」（医事伝道 332）

個人的な復習問題

1. なぜ時はそれほど価値があるのですか。
2. どのような一般的なわなが、キリストのために働くことを妨げますか。
3. どのような傾向が、わたしたちをラオデキヤ状態に沈滞させる可能性がありますか。
4. 何がキリストのために労する動機を与えるべきですか。
5. なぜ多くの人々は後の雨を受けそこなうのですか。

第一安息日献金

貧しいフィールドのための文書のために

混乱の反対は何でしょうか。地球という惑星にたくさんいる群衆は混乱しています。ですから、預言的に「バビロン」、つまり混乱と言及されているのです。識別力、知覚力、理解力はみな曇っています。人々に明確さが必要です。はっきりとした真理が教えられ必要があります。

人々は聞くでしょうか。わずかな人は聞くでしょう。多くの人は聞かないでしょう。しかし、彼らは見るかもしれません。彼らは自分たちの目をとらえた何かを一瞬読んでみるかもしれません。そして彼らの見たものは、思いに語りかけ、理解力を啓発するかもしれません。

「暗やみを追い払う方法は光を入れることである。誤謬をとり扱う最上の方法は真理を示すことである。自己中心の心のみにくさと罪とを明らかに示すのは、神の愛のあらわれである」(各時代の希望中巻 301)。彼らが罪を認めるときに、救い主を慕い求めるようになります。

この素晴らしい神の愛の啓示が、印刷されたページを通してもたらされることができません。現代の真理を構成する多くの主題があります。例えば、

「健康改革という偉大な主題について民を啓発するために、もっと真剣な努力がなされるべきである。4 ページ、8 ページ、12 ページ、16 ページ、あるいはもっと多くのページのトラクトに、この大きな問題についての的を射てよくまとまった記事を掲載し、秋の木の葉のようにまき散らされなければならない。」(健康に関する勧告 1 巻 463)

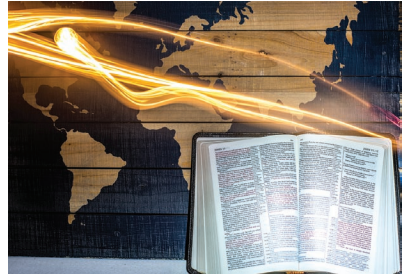
「いま有害な欲という祭壇の上に犠牲にされている幾千ドルは、主の金庫に流れ込むようになり、秋の木の葉のようにまき散らされるべきさまざまな言語の出版物が増えていく。伝道地が他の国々で設立され、そのとき、キリストに従う人々は、確かに世の光となるのである。」(闘い 60)

秋に、木から落ちる葉は数しれません。数えることはほとんど不可能です。そうです、それだけ多く、現代の真理を記載したトラクト、パンフレット、冊子、そして書物が必要とされているのです。それらは永遠の福音を宣布するのに、不可欠な道具です。そのような教材を製作することは、残念なことに、多くの人が自分のために、また他の人に伝えるために支払えないような出費を招きます。そこで、わたしたちはみな真理を他の人々に伝えるという任務を委ねられているため、彼らがそれを受け取れるように、わたしたちが各自、援助する義務と特権があります。

本日の第一安息日献金は、貧しい国々のための文書のためです。あなたの惜しみない犠牲を払う一献金は、遠くにまで及び、他の人々が学び、主の再臨のために準備する助けとなります。

キリストとご協力いただき、ありがとうございます！

世界総会出版支部より



金銭を愛すること

暗唱聖句：「銀はわたしのもの、金もわたしのものであると、万軍の主は言われる。」
(ハガイ書 2:8)

「わたしたちは資金のあらゆる出費において、すべてのクリスチャンの努力のアルパでありオメガであるお方のご目的を果たすよう奮闘すべきである。」(教会への証 9 巻 49)

推奨文献： 教会への証 5 巻 148-157;
同上 2 巻 99, 652-662

日曜日

10 月 30 日

1. 表された心

a. 金銭の用い方は、どのようにわたしたちの神への献身の深さを表わしますか (マタイ 6:21)。

「わたしたちが、深い熱心さをもつべきことが一つあるが、それは神の奉仕である。ここで熱心すぎるといふ危険はない。もしわたしたちがただ神の栄光だけに目を留めて働きさえすれば、霧は晴れて、善悪についてのわたしたちの視力ははっきりするようになる。わたしたちは自分たちの財産を捧げるべきである。心の言葉は次のようになる、『主よ、ここにあなたがわたしに責任をお与えになった資金があります。これをもってわたしに何をおさせになりたいのですか。』」(サインズ・オブ・タイムズ 1886 年 1 月 7 日)

「金銭は神からの委託物である。誇や野心を満足させるために金銭を費す権利はない。」(ミニストリー・オブ・ヒーリング 264)

b. ダビデの神への献身は、わたしたちの多くの者にとって、どのように刺激ともなり、譴責ともなりますか (歴代志上 29:3-5)。

「感謝は心のうちに死んでしまったのであろうか。キリストの十字架は、利己的な安逸と放縱の生活を、恥させないのであろうか。……わたしたちはこの無限の自己犠牲の実を刈り取っている。それでいながら、働きがなされねばならず、魂の救いにおいて贖い主の働きを助けるためにわたしたちの金銭が求められると、義務に知り込みし、免除されるように祈るのである。」(管理職への勧告 21)

2. 敵の計画に対して警戒する

- a. わたしたちは安息日遵守者に対する悪意あるひそかな計画に対して、どのように警告されていますか（マタイによる福音書 20:1-9）。

夕方の五時に ぶどう園に来た労働者は、働く機会が与えられたことを感謝した。彼らの心は、彼らをやってくれた人に対する感謝でいっぱいであった。そして、その日の終わりに、主人が彼らに一日分の賃銀を払ったとき、彼らはたいへん驚いた。彼らは、そのような賃銀をかせがなかったことを知っていた。雇い主の顔に表わされた親切心を見て、彼らの心は喜びにあふれたのである。彼らは、主人の親切と分にあまる報酬をいつまでも忘れることはできなかった。自分の無価値なことを知りながら、五時になって、神のぶどう園にはいった罪人もこれと同じである。彼の奉仕の時間は短く、報酬を受ける価値のないことを感じるのであるが、自分のようなものでさえ、神が受け入れてくださったことに大きな喜びを感じている。彼は、けんそんと信頼の念をもって働き、キリストと共に働く特権を感謝しているのである。神は、このような精神を嘉納なさるのである。

報酬のことは全く神におまかせして安んじていることを、主はわたしたちに望まれる。キリストが魂に宿られると、報酬のことは、第一の関心事ではなくなる。それがわたしたちの奉仕の動機ではない。わたしたちは、第二義的の意味で、報酬に関心を持つべきは当然のことである。神は、わたしたちが、約束の祝福を感謝することを望んでおられる。しかし、神は、わたしたちが報酬を熱心に求めたり、また、すべての義務に対して報酬を受けべきであると思うことを、お望みにならない。わたしたちは、報酬を受けることよりはむしろ、報酬のことは、全く度外視して、正しいことを行なうように心がけなければならない。神と同胞への愛が、わたしたちの動機でなければならない。」（キリストの実物教訓 377, 378）

- b. わたしたちはなぜ、特に食欲に対して警告されているのですか（ルカ 12:15）。

「人間の心に潜在している利己心と食欲は、もつとも強力な情欲であり、戦いの結果は、単なる憶測ではない。魂が日ごとにキリストの肉を食して生き、このお方の血を飲んでいないかぎり、信心深い要素は、悪魔的な要素に打ち負かされてしまう。利己心と食欲が勝利を得るようになる。自己満足と独立の精神は、決して神の王国に入ることはない。キリストと共にその栄光にあずかるようになるのは、キリストと共にその自己否定と犠牲にあずかる人々だけである。」（*レクテッド・メッセージ* 2 巻 216）

3. 深刻な問題

- a. 金銭への愛着は、どのようにわたしたちの霊的な命を退化させますか。そしてその治療法は何ですか（テモテ第一 6:9, 10）。

「キリストはご自身を捧げ、無限の犠牲を払われた。これが、それ自体、真っ向から食欲に反し、慈善を高める。

「継続的な自己否定の慈善は、利己心と食欲という蔓延する罪に対する神の治療法である。神はご自分のみ事業を支え、苦しむ人や困窮している人々の必要を救援するために、組織だった慈善を取り決められた。このお方は与えることが習慣となるべきことを定め、こうして危険な欺きの罪である食欲を阻止できるようになされた。絶えず与えることは、食欲を飢え死にさせる。組織だった慈善は、食欲な人が宝を得たときと同じくらいすみやかにそれらを引き離し、そして主に、すなわち、それらの宝の属しているお方にお捧げするように神の取り決めのうちに計画されている。」（教会への証 3 巻 548）

「自己犠牲は、キリストの教えの基調である。しばしばそれは命令的に思える言葉で提示され、課されている。なぜなら、神は人を救うためには、持ち続けていれば存在全体を低下させることになる利己心を、人の命から切除するしかないことをご覧になるからである。」（同上 9 巻 49）

「神の民の活力を蝕（むしば）んでいるのは、金銭と、世を友とする交友の愛着である。」（同上 2 巻 657）

- b. 神はわたしたちの注意の焦点を、どこにあわせたいと思っておられますか。また、それはなぜですか（コロサイ 3:1）。

「利己心は魂を破滅させる罪である。これを先頭にして、偶像礼拝である食欲が続く。万物は神に属している。わたしたちが享受している繁栄は神聖な慈善の結果である。神は偉大にして物惜しみしない与え主であられる。もしこのお方がわたしたちに与えて下さった豊富な供給の一部を要求なさるとしたら、それはご自分がわたしたちの捧げ物によって豊かになるためではない。なぜなら、このお方はわたしたちの手からは何も必要としておられないからである。そうではなく、それはわたしたちが同胞のために自己否定、愛、同情を働かせ、それによって非常に高められる機会を得るためである。アダムの中からわたしたちの時まで、すべての時代において、神は人間の財産権を主張して次のように言われる。わたしは宇宙の正当な所有者である。であるから、あなたの初なりをわたしに捧げなさい。忠誠の捧げ物を持って、わたしの許へわたし自身のものを捧げ、わたしの統治権を認めなさい。それから、自由にわたしの賜物を持ち、楽しみなさい。そうすれば、わたしの祝福はあなたと共にあるであろう。」（同上 4 巻 476, 477）

4. 犠牲による契約

- a. 主の再臨前の時間が短いことを考えるとき、各々、自分の個人的な資金を管理する際に何を考慮すべきですか（ハガイ 2:8）。

「多くの人々にとって、富の所有がわなとなってきた。世の流行に従いたいという願いのうちに、彼らは真理を求める熱心さを失ってしまった。そして彼らは永遠の命を失う危険のうちにいる。神が彼らを繁栄させられたのに比例して、人は自分たちの管理に委ねられた財産から、このお方に戻すべきである。」（この日を神と共に 349）

「ある人々は、伝道者を外国に送ったり、真理を出版して秋の木の葉のように世界中にまくために用いられる金銭のための訴えに耳を閉ざす。そのような人は、あなたに死ぬときに惜しみなく施す取り決めをしたからと伝えることによって、自分たちの食欲を言い訳する。彼らは自分たちの遺言書の中で神のみ事業を考慮した。であるから、彼らは什一や献金において神から盗み、強欲な生涯を送りながら、遺言書の中で神にお返しするのであるが、神が彼らに貸し与えられたものからわずかな部分だけであり、その一方、大部分は真理に関心のない親戚に割り当てられるのである。」（教会への証 4 巻 479, 480）

「主は、ご自分のしもべたちの死が、彼らの発揮していた善への感化力と彼らが神の金庫を再び満たすために捧げてきた自発的な献金のゆえに損失として見なされるよう、計画しておられる。生きた慈善の代わりとして、死ぬ時の遺産はみじめな代替物である。神のしもべたちは、良い働きと惜しみない神への献金のうちに、毎日自分たちの遺書を作成しているべきである。彼らは神へ捧げる額が、自分自身の使用に充てられるものと比較して不釣り合いに小さいことを許すべきではない。日々自分の遺書を作成するにあたり、彼らは自分たちの愛情の大部分を占めている対象や友人たちを覚えるのである。

彼らの最上の友はイエスである。このお方はご自分の命を彼らから差し控えることをなさらなかった。むしろ、ご自分の貧しさを通して、彼らは富む者となることができるように彼らのために貧しくなられた。このお方は、心と財産の全体、彼らの持っているもの、彼らの存在すべてを受ける資格がある。しかし、クリスチャンだと公言する多くの人々は、イエスの主張を、生きているときに先延ばしにし、死ぬときになって雀の涙ほどの額をこのお方に捧げることによって、このお方を侮辱するのである。」（管理職への勧告 326）

- b. 管理職に関するどのようなはっきりとした警告を、キリストは親に公表なさいましたか（マタイによる福音書 10:37）。

「信じる親はしばしば自分たちの財産を、不信仰の子供たちに委譲してしまい、それによって神のものを神にお捧げする自分たちの力の及ばないところへおいてしまう。こうすることによって、彼らは神が課された責任をふりはらい、神が彼らに委ねられた財産を敵軍の中に置くのである。この財産は、神が彼らに要求なさるときにみ事業に投資することによって、このお方にお返しするために、彼らに委ねられたのである。自分自身のことを管理できる親が、自分たちの財産の管理をやめて譲り渡すことは、同じ信仰の子供たちに対してできても、神の秩序ではない。」（同上 1 巻 528, 529）

5. 最も安全な貯金箱

- a. 犠牲を通してご自分と契約を結ぶすべての人に、キリストはどのような慰めの保証を提供なさいますか (マタイ 6:28-33)。

「心を開いてこの国を受け入れ、そのために尽くすことを第一のこととしなさい。これは霊の国ではあるが、この世の生活の必要がかえりみられないのではないかと恐れるには及ばない。あなたがたがみずから神の奉仕にささげるなら、天でも地でもすべての権力を持っておられるかたがあなたがたの必要を満たしてくださるのである。」(祝福の山 122)

「他の人々の善のための自己犠牲の行為一つ一つは、与える人の心のうちに慈愛の精神を強め、その人を世の贖い主ともっと近く結びつけるのである。」(管理職への勧告 20)

- b. わたしたちの富を保管するのに、もっとも実り多い方法は何ですか (箴言 3:9, 10)。

「あなたは自分の財産を安全に守りたいであろうか。それを十字架の釘あとを帯びたみ手におきなさい。あなたのすべての財産をとっておくなら、それはあなたの永遠の損失となるであろう。それを神に渡しなさい。そうすれば、その瞬間からそれは神の銘を帯びるのである。それはこのお方の不朽によって印される。」(同上 49)

「わたしたちは天の利益に投資し、いつも天を視野に入れて働き、自分たちの宝を天の銀行に蓄えるべきである。」(サインズ・オブ・タイムズ 1895 年 4 月 4 日)

個人的な復習問題

1. なぜ金銭は、わたしたちの心について多くをあらわすタラントとなり得るのですか。
2. サタンが安息日遵守者に対してもくろむ策略の一つを描写しなさい。
3. わたしたちは金銭への愛着を克服することによって、どのように祝福されますか。
4. 時の終りが近づきつつあるとき、何を考慮すべきですか。
5. 自分たちの宝を天に蓄える人々に、どの約束が与えられていますか。

天に宝を

暗唱聖句：「あなたがたは自分のために、虫が食い、さびがつき、また、盗人らが押し入って盗み出すような地上に、宝をたくわえてはならない。むしろ自分のため、虫も食わず、さびもつかず、また、盗人らが押し入って盗み出すこともない天に、宝をたくわえなさい。あなたの宝のある所には、心もあるから…である。」（マタイによる福音書 6:19-21）

「神は、わたしたちが、地上のものよりは、天のものを選ぶことを望んでおられる。また、天にたくわえることができることをもお示しになった。神は、わたしたちの最高の目標に励ましのことばをかけ、わたしたちの尊い宝を安全に守ってくださるのである。」（キリストの実物教訓 351）

推奨文献： アドベンチスト・ホーム 413-428

日曜日

11月6日

1. 感謝の理由

- a. わたしたちの心に繰り返し響き渡るべき生きた要素は何ですか（詩篇 107:8, 15, 21, 31; ヨハネ 14:1-3）。

「神の愛だけが、キリストの繁栄のために耐えるようにと召された自己否定と自己犠牲においてこのお方の民を真に保つことができるということを理解しよう。ヨハネ 14 章の最初の 3 節を度々繰り返そう。この聖句は問題、失望、苦痛に対する万能薬である。永遠の命の希望が確かにあるという確信は、心に喜びと感謝の気持ちを溢れさせる。」（ボールコレクション 5）

- b. わたしたちの財産を主にお捧げするときに、何を心にとめておくべきでしょうか（詩篇 29:1, 2）。

「与えることは生きることである。保存される生命は神と人との奉仕に惜し気なく与えられる生命である。キリストのためにこの世の生命を犠牲にする者は永遠にいたる生命としてこれを保つのである。」（各時代の希望下巻 85）

「わたしは記録する天使が神にささげられ金庫に納められる一つびとつの献金につき、またそのように用いられた富の最後の結果について忠実に記録するのを示された。神の御目は、神のみ働きにささげられる一片の小銅貨でも、またささげる人が心からそれをささげるかどうかということまでも、認めておられる。またささげる動機も記録される。」（アドベンチスト・ホーム 415）

2. 予想されていたものとは異なる

a. イエスによって与えられたどの原則がより幸せな人生の秘訣でしょうか（使徒行伝 20:35）。

「世俗の原則は、この世の朽ちるものをできる限り手に入れることである。儲けるという利己的な愛が、彼らの生活を支配している原則である。しかし、もっとも純潔な喜びは、富の中にも、いつも貪欲が切望しているところにでもなく、満ち足りた心が支配しているところ、また自己犠牲的な愛が原則として支配しているところに見出されるのである。放縱にふけて自分の人生を送り、いつも不平に満ちた心をもっている人々が何千という。彼らは利己心の犠牲者であり、自分たちの思いを放縱で満足させようとむなしい努力をして不満を抱いている。しかし、不幸が彼らの表情そのものに刻印されており、その背後は砂漠である。なぜなら、彼らの道は良い行いの実りがないからである。

キリストの愛がわたしたちの心を占め、わたしたちの生活を支配するのに比例して、貪欲、利己心、安逸を愛する心は克服され、自分たちがその僕であると主張しているキリストの御旨を行うことがわたしたちの喜びとなる。そのときわたしたちの幸福は、キリストの愛によって促された自分たちの無私の行いに比例するようになる。

救いの計画において神聖な知恵が備えられてきた。行動と反応の法則が、慈善の働きを、あらゆる分野において二重の祝福としてきた。困窮している人々に与える人は、他人を祝福し、また自分自身はさらに大きな割合で祝福を受けるのである。神は人の助けがなくても罪人を救うことにおいてご自分の目的を達成することがおできになったのである。しかし、このお方は人が自己否定と慈善を培うことになる偉大な働きにおいて役割を果たさなければ、幸せになることができないことをご存じであった。」（教会への証 3 巻 382）

b. 主はわたしたちに対して人生の優先順位を合わせるようにどの訴えをもって命じておられますか（マタイ 6:19, 20）。

「神は与える事が習慣になるように、それが貪欲という、人を惑わす危険な罪を防ぐことができるように定められた。絶えず与えることは貪欲を根絶させる。」（アドハム・ソフ・ホム 417）

「虫がくい、さびがつく富が一掃されるとき、キリストのしもべたちは、彼らが天に積んだ宝と朽ちない富とを楽しむことができるのである。…」

キリストの財産を使い果たしてしまった者にもなお、永遠の富を獲得する機会を与えられている。…

あなたの財産をあなたに先だって天に送ることにしよう。あなたの宝を神のみ座のかたわらにたくわえよう。」（キリストの実物教訓 351, 352）

3. 基本的な必要条件

- a. 天のみ国への準備において、キリストに心から服従し、自己を否定する過程で、わたしたち一人一人は何を心にとめておかねばなりませんか（コリント第一 15:31）。

「使徒パウロの生涯は自己との絶えざる戦いであつた。彼は『わたしは日々死んでいる』と言い、日々、その意志と欲望は義務と神の意志と戦つたのである（コリント第一 15:31）。そして彼は自分の性癖に従わないで、自分の性質をどんなに苦しめようと、神のみ旨を果したのであつた。

戦いの多いその生涯の終りにあつて、彼は、自分の戦いと勝利を振り返って『わたしは戦いをりっぱに戦いぬき、走るべき行程を走りつくし、信仰を守りとおした。今や、義の冠がわたしを待っているばかりである。かの日には、公平な審判者である主が、それを授けてくださるであろう』と言うことができた（テモテ第二 4:7-8）。

クリスチャンの生涯は戦いと進軍である。この戦いには休息がない。つねに努力し、忍耐をしなければならない。サタンの誘惑に勝利してゆくには絶え間ない努力がいる。クリスチャンの高潔は何ものも抵抗できぬ熱心さをもって求むべきものであり、確固不動の決意をもって保持しなければならない。

だれでもきびしい、不撓の努力をせずに向上する者はいない。すべてが自己のためにこの戦いに参加しなければならない。だれも代りに戦うことはできない。わたしたち個人個人が自己の戦いの結果に対して責任をもつのである。」（ニストリー・オブ・ヒーリング 434, 435）

「あなたがたは、最後の七つの災害を避けたいと思うだろうか。あなたがたは神を愛し神のために喜んで苦難を忍ぶ者のために、神が備えられたすべてのものを、天国に行つて受けたいと思うだろうか。もしそうならば、あなたがたは生きるために死ななければならない。準備しなさい。準備しなさい。準備しなさい。あなたがたは、今までよりもっと準備しなければならない。いきどおりと激しい怒りが容赦なくあらわされる主の日がやつて来て、地上を荒廃させ、地上から罪人を滅ぼし去るのである。すべてを犠牲として神にささげなさい。自分も、財産も、すべてを生きた供え物として、神の祭壇の上にせなさい。天国に入るためには、すべてのものが必要である。あなたがたは、自分のために盗人が近づかず、さびもつかない天に宝を蓄えなさい。あなたがたは、将来、キリストと共に彼の栄光にあずかろうと思うならば、この地上でキリストの苦難にあずかる者でなければならない。

もし苦難によって、天国が得られるとするならば、それはまことに安価なものである。われわれは常に自己を否定し、日毎に自己に死に、イエスだけをあらわすようにし、絶えず彼の栄光を心に留めていなければならない。」（初代文集 142, 143）

4. 若いころからの良い習慣

a. 自己否定の概念は子供たちにも、どのように適用されますか (箴言 20:11)。

「二歳から四歳ぐらいまでの子供たちに、ほしいものはなんでも手に入るなどと思いきかせてはならない。親は幼い子供たちに、自分の欲望を押さえるということを教えなければならないのである。自分たちが家庭の中心であり、なんでも自分たちの思いどおりになるなどとは、決して子供たちに思わせてはならない。

多くの子供たちは自分の両親から利己心を受け継ぐが、親は子供たちの性質からこの悪い性向を根こそぎ抜きとる努力をする必要がある。キリストは、貪欲でわがままな人たちを、何度も叱責なさった。親は自分の子供たちのなかに利己的な性質のきざしを見たなら—それが自分たちの目の前でであろうと、あるいはよその子供たちと遊んでいる時であろうと—そうした傾向を抑えて取り除くように努めなければならない。」(家庭の教育 126 127)

「子供たちは自己を否定するように教育されなければならない。あるとき、わたしはナッシュビルで、主がこの問題についてわたしに光を与えて下さったことを話していた。すべての家庭で自己否定の箱を置くべきことが強い力をもってわたしの上にひらめいた。この箱に子供たちが飴やその他不要なものに費やしたかもしれない小銭を入れるよう教えられるべきである。」(同上)

「もし、旅行中に、わたしたちの青年たちが自分たちの費やす金額を正確に、品物ごとに記録するならば、目が開かれて漏れを認めることであろう。彼らは、初期の働き人たちがあちこちと移動する生活の中でしたように、温かい食事を取り上げられるように召されることはないかもしれないが、今自分たちが必要だと考えているものよりも少ない費用で自分たちの本当の必要を満たすことを学ばなければならない。神のみ事業に資金を捧げるために自己否定を実践する人々がいる。そうであれば、み事業にいる働き人たちにもまた自分たちの費用を制限することにより、自己否定を実践させなさい。」(教会への証 5 巻 400)

b. これがどのように実践されたか、例をあげなさい (コリント第一 11:1)。

「わたしがまだ 12 才だったとき、わたしは節約することとはどうゆうことであるかを知った。私は妹といっしょに手の職を学び、一日にわずか 25 セントしかかせぐことができなかったが、その中から伝道にささげるためにわずかをたくわえることができた。わたしたちが少しずつたくわえたものはついに 30 ドルになった。そして主がまもなく来られるとの使命にわたしたちが接し、人と財力の必要が叫ばれとき、わたしたちはその 30 ドルを暗黒にある人々に使命を伝えるトラクトやパンフレットに投ずるよう父に手渡すのを特権に感じた。……

わたしと妹は手職で手に入れたそのお金で自分たちの着物を買った。わたしたちはお金を母に手渡すときに、『わたしたちが着物に支払ったあと、伝道の働きに献金する分が少し残るように買ってください』と言った。母は言われたようにし、それによってわたしたちの中に伝道精神を鼓舞してくれた。」(アドベンチスト・ホーム 434)

5. わたしたちが老いるにつれて継続する

- a. 若い人が天に宝を蓄えるのと同じように、年配者もどのようにそれをすべきですか（詩篇 116:14, 15; ルカ 12:33, 34）。

「老齢の者、すなわちこの命を手放そうとしている者に向かって、わたしはあなたがたが主のうちに眠りにつく前に自分の主の財産を正しく処分するよう訴える。あなたは神の管理者であることを覚えていなさい。主ご自身のものを、あなたが生きている間にお返しなさい。あなたの理性がある間に、このことに対処することを怠ってはならない。年月がわたしたちにのしかかるとき、自分たちの資産を神が設立された手段に譲渡することが、わたしたちの義務である。サタンは資金を非常に必要としている主のみ事業からそらすためにあらゆる策略を用いる。多くの者は世俗の事業に自分たちの資産というタラントを結びつけているが、そのとき神のみ事業は神の真理を前進させ、神の御名に栄光を帰すため、一ドル一ドルを必要としているのである。わたしはたずねる。わたしたちは虫もつかず古びもしない天に自ら宝を蓄えないのであろうか。わたしは特にまもなく自分たちの資産を処分しなければならぬ年配者に、言葉と教理をもって忠実に仕えてきた人々を覚えるように訴えたい。あなたの資産を、健康と命が衰えるときに、それらを神のみ事業に投資できるところへ置きなさい。こうしてそれらは両替人のところへ持ち出され、絶えず蓄えられていくのである。……

あなたがたの心がイエスに対して真実であるようにしなさい。あなたは自分があらゆる聖徒の中の最も小さい者であると感じるかもしれないが、なおあなたはキリストの体の肢体であり、このお方を通してあなたがたは、このお方のすべての人間代理人や、天の知的存在者たちの卓越さや力と同一に扱われているのである。わたしたちのうちだれ一人自分のために生きる者はない。各自に義務の地位が定められており、自分自身の狭い利己的な利益のためではなく、各自の感化力がすべての人を強めることができるためである。もしわたしたちが本当に個人個人に全世界に、天使にも人々にも見せ物にされたと信じるならば、わたしたちは教会として、今表しているのとは非常に異なる精神を表すのではないだろうか。わたしたちは生きた働く教会だろうか。」（教会への証 7 巻 295, 296）

個人的な復習問題

1. わたしたちが自分に対する神のいつくしみ深さを考えるとき、それによって、わたしたちはどのように応じるべきですか。
2. どのような具体的な方法によって、わたしは他の人々の益のために、より大きな自己犠牲を働かせるべきですか。
3. 生涯のどの局面において、わたしはより効果的に、日々死んでいる使徒を反映する必要がありますか。
4. 子供たちに、どのように自己否定の喜びを教えることができますか。
5. わたしたちが年月を重ねるとき、絶えず、どの訴えがわたしたちにまで、こだましていますか。

什一と初穂

暗唱聖句：「十番目に通るものは、主に聖なる物である。」（レビ記 27:32）

「什一は神聖なものであり、神がご自身のためにとりおかれたものである。」（管理職への勧告 93）

推奨文献： 福音宣伝者 222-228

日曜日

11 月 13 日

1. 創世記の時代より

- a. どのような方法によって、神はエデンの園の一部をご自身のためにとりおかれましたか（創世記 2:16, 17）。これは、どのように什一と対比することができますか（マラキ 3:7, 8）。

「主はエデンの中に、目に美しく食べるに良いすべての木を創造された。そして、アダムとエバはこのお方の豊かさを自由に楽しんだ。しかし、このお方は一本の例外を設けられた。善悪の知識の木からは、彼らはとって食べてはならなかった。神が万物の所有者であることを絶えず思い起こさせるものとして、神はこの木を取りおかれた。こうして、このお方はご自分の要求への完全な従順によって、ご自分を信じる信仰と信頼を示す機会を彼らにお与えになった。

わたしたちに対する神のご要求も同様である。このお方は人の手の中に、ご自分の宝をおかれるが、十分の一は忠実にご自分のみ働きのためにとりおくようにと要求なさる。このお方はご自分の金庫にこの割合が捧げられるよう要求なさる。それは神ご自身のものとして、このお方に捧げられるべきである。それは聖なるのであり、聖なる目的、すなわち世界中の至る所に救いのメッセージを伝える人々を支えるために用いられるべきである。」（教会への証 6 巻 386）

- b. 自分たちの収入の十分の一について、何が初期の父祖たちの習慣でしたか（創世記 14:18-20; 28:20-22）。

「十分の一制度は、ヘブル人が創設したものではなかった。主は、初期のころから、十分の一をご自分のものとして主張され、それは、人々が認めて尊んだことであった。」（人類のあけぼの下巻 159）

2. ヘブル人の制度において

- b. 什一に関して、初期のヘブル国家に、どのような特別な指示が与えられましたか（レビ記 27:30, 32）。すべての時代において、この原則はどのように強調されていますか（マラキ 3:10）。

「ヘブル人の制度では、人々の収入の十分の一は、神を公に礼拝することを支持するために、聖別されていた。……

イスラエルの国が建設されたときに、十分の一の律法は、神のお定めになった定めの一つとして再確認された。彼らの繁栄は、これに従うか否かにかかっていた。……

『十分の一は……主のものである』（レビ記 27:30）。ここに、安息日の律法に用いられたのと同じ表現形式が用いられている。『七日目はあなたの神、主の安息である』（出エジプト記 20:10）。神は、人間の時間と財産の一定の部分をご自分のものとして保留なさった。そこで、人間は、そのどちらであっても私用に供すれば、罪を犯すことになるのである。」（人類のあけぼの下巻 159, 160〔筆者強調〕）

- b. 什一がとりおかれる前に、何が要求されましたか（出エジプト記 34:26（上句）；歴代志下 31:5, 6）。

「十分の一の保留以前でさえ、神の要求を認めなければならなかった。地のすべての産物の最初に実ったものは、神にささげられた。羊の毛を刈ったときや、麦を脱穀したときの最初のもの、油や酒の最初ものは、神のもものとされた。それと同様にすべての動物のういごは、神のものであった。また、長子のためには、贖いの価を払ったのである。最初の実は、聖所で主の前にささげられ、それから、それは祭司たちの用に供された。

こうして、人々は常に神が彼らの畑や羊の群れや家畜などの真の所有者であって、神が、彼らの種まきや収穫のときに日光と雨をお与えになったこと、また、彼らの所有のすべては、神がお造りになったものであって、神が、彼らを神の財産の管理人になさったことを思い起こさせられた。

イスラエルの人々が、畑や果樹園やぶどう畑の初物をたくさん携えて、幕屋に集まったとき、彼らは、人々の前で神の恵みをたたえたのである。」（人類のあけぼの下巻 161）

「什一のほかに主はわたしたちのすべての収穫の初穂を要求なさる。地上でのこのお方の働きが十分に維持されるためにこのお方はこれらのものを備えておかれた。主の僕はわずかな供給に制限させるべきではない。」（教会への証 6 巻 384）

3. 時代を超越した原則

- a. ネヘミヤの時代になされた改革のうち、何が含まれていましたか（ネヘミヤ 10:37; 12:44）。
- b. パリサイ人のどの習慣が、キリストの承認を受けましたか（マタイ 23:23）。なぜ、什一の原則は、新約時代にも当てはまるのですか（ヘブル 7:1-5, 8, 20, 21）。

「新約が、安息日の律法を再び制定することはないように、の律法を再び制定することはない。なぜなら、両方ともその価値を担い、それらの深い霊的な重要性が説明されているからである。

神はわたしたちの時間と財産の特定された一部を無条件に取りおかれた。これらのご要求を無視することは、神から盗むことである。」（レビュー・アンド・ヘラルド 1882 年 5 月 16 日）

「什一は神に捧げられるべきである。このお方のご要求が第一にくる。わたしたちは、自分たちの必要がすべてに満たされた後の残りをこのお方の捧げるのでは、このお方のみ旨を行っているのではない。わたしたちの収入を少しでも消費する前に、わたしたちはこのお方がご自分のものだと言われ、主張しておられる分を取り分けて、お捧げすべきである。これがなされたとき、残りは聖化され、わたしたち自身を使うために祝福される。しかし、このお方がご自分のものだと言われるものを差し控えるとき、のろいが全体に及び、わたしたちは天の書に盗みの罪があるものとして記録される。神は人に十分の九をお与えになったが、十分の一は聖なる目的のため、ご自分のものだと言われ、主張なさる。それはこのお方が人に六日を自分自身の働きのために与え、七日目をご自身のために取っておかれたのと同様である。」（パシフィック・ユニオン・レコーダー 1901 年 10 月 10 日）

「わたしたちは神がご自身のために取りおかれた時間を忠実にお捧げすることを求めるのであれば、このお方がご自分のものだと言われ、主張なさるわたしたちの財産の一部もお捧げしないであろうか。……

わたしたちのすべての収入の什一は主のものである。このお方はそれを宗教的な目的に用いるためにご自身に取っておかれた。それは聖なるものである。これ以下のものは、どの時代においても神はお受入れにならなかった。この義務をなおざりにしたり、遅らせたりすれば、神のご不興を引き起こす。もしクリスチャンだと公言するすべての人が、忠実に自分の什一を神の許へ携えてくるならば、このお方の金庫は満ちるはずである。」（管理者への勧告 66, 67）

4. わたしたちのための警告

- a. 什一の原則は、どのように第八条に関わっていますか (出エジプト記 20:15; マラキ 3:8, 9)。

「神はすべての人の財産の上に手をおかれて次のように言われる。わたしは宇宙の所有者であり、これらの財産はわたしのものである。あなたが差し控えてきた什一は、闇の地方にいる人々やわたしの律法を理解しない人々に聖書を開く働きをしているわたしの僕たちを支えるために、わたしが取っておいたものである。わたしの取っておいた基金を用いてあなた自身の願いを満足させることによって、あなたは魂が受けられるわたしが備えた光を魂から奪ってきた。あなたはわたしへの忠誠を示す機会があったが、これをしてこなかった。あなたはわたしから盗んだ。あなたはわたしの取っておいた基金を盗んだ。『あなたがたは、のろいをもって、のろわれる』(マラキ 3:9)。」(教会への証 6 巻 387)

- b. わたしたちは什一について、何を決して忘れてはなりませんか (コリント第一 9:13, 14)。

「什一は特別な目的のために取りおかれている。それは貧困のための基金だとみなされてはならない。それは特別に世界に神のメッセージを担っている人々を支えるために用いられるべきであり、この目的からそれではならない。」(管理職への勧告 103)

「だれも自分の什一を取っておき、自由に自分自身の判断に基づいて用いて良いと感じてはならない。彼らはそれを自分たちの緊急時に使ったり、自分たちがふさわしいと思うこと、すなわち自分たちが主のみ働きだと考えていることにあてたりしてはならない。」(福音宣伝者 225)

「わたしたちの民のために、非常に率直ではっきりとしたメッセージがわたしに与えられてきた。わたしは彼らに、什一をさまざまな目的、すなわちそれ自体は良いことであっても、主が什一を用いるべきだと言われた目的ではないことに、あてることによって間違いを犯していると告げるように命じられている。什一をこのように使用する人々は、主の取り決めから離れて行っている。神はこれらのことのために裁かれることになる。」

ある人は、学校の目的のために、什一を用いることができると判断する。また他の人々は、文書の販売伝道や配布伝道に携わる人々は什一で支えられるべきだと判断する。しかし、什一がその用いられるべき目的一牧師を支えること一から引き離されるとき、大変な間違いを犯す。伝道地には、良い資質を備えた働き人が今一人しかいないところに、今日百人いるべきである。」(同上 226)

5. わたしたちの金銭的な第一優先事項

a. 霊的、また現世の繁栄にとって、何が鍵となります (マタイ 6:33)。

「主は、什一がご自身のものであると主張なさるばかりでなく、ご自分のためにどのように取っておくべきかをわたしたちに教えて下さる。このお方は、『あなたの財産と、すべての産物の初なりをもって主をあがめよ』と言われる (箴言 3:9)。これはたとえ、それが正直な什一であったとしても、わたしたちに自分の財産を自分のために使ってから、残りを主のところへ持って来るようにとは教えていない。神の分を最初に取り分けなさい。使徒パウロを通して聖霊によって与えられた捧げ物に関する指示は、什一にも適用すべき原則を示している。『一週の初めの日ごとに、あなたがたはそれぞれ、いくらでも収入に応じて手もとにたくわえておき……なさい。』 (コリント第一 16:2)。ここに親も子供も含まれている。裕福な者だけでなく、貧しい者にも語られている。」 (レビュー・アンド・ヘラルド 1896 年 11 月 10 日 [筆者強調])

b. 神はご自分のものについて、わたしたちに何を宣言しておられますか (マラキ 3:10)。

「主の民は忠実に什一を払いなさい。そしてまた親から子供まで、しばしば自己満足のために使っていた金銭を主のために取りおきなさい。主はわたしたちをご自分の管理者となさった。このお方は忠実な分配のためにご自分の資金をわたしたちの手中におかれた。このお方はわたしたちにご自身のものをみ許に捧げるように求められる。このお方は世界の至る所に福音を伝えるために用いるために、ご自分の分として什一を取りおかれた。わが兄弟姉妹がた、あなたがたの利己心を告白して、これを捨て、主に送りものと捧げ物を携えてきなさい。このお方にまたあなたが差し出していなかった什一を携えてきなさい。あなたの怠慢を告白しに来なさい。主があなたを招いておられるとおりに、このお方を試してみなさい。」 (同上 1905 年 11 月 23 日)

個人的な復習問題

1. エデンより、どの実物教訓が、什一の原則を説明していますか。
2. 神の倉に自分たちの什一をお戻しする前に、ヘブル人はどのように神のご要求を認めるべきでしたか。
3. なぜ、什一の制度は、新約時代にもあてはまるのですか。
4. もしすべてのクリスチャンが什一を払えば、何が起こるはずですか。
5. どのように、忠実な什一の献金はすべての人を益しますか。

感謝献金と 貧しい人への配慮

暗唱聖句：「わたしに賜わったもろもろの恵みについて、どうして主に報いることができようか。」（詩篇 116:12）

「わたしたちの自己犠牲の慈善、自発的な献金は、真理がわたしたちの心にその働きをしてきている証拠となるのである。」（レビュー・アンド・ヘラルド 1904 年 7 月 14 日）

推奨文献： 教会への証 3 巻 390-399
同上 4 巻 462-476

日曜日

11 月 20 日

1. 全ては創造主のもの

- a. 世界の所有権について考える時、わたしたちは何を思い出しますか（詩篇 95:3-5; 箴言 3:9; コリント第一 6:19（下句）, 20）。

「神は万物の上に、人にも人の財産にも、ご自分のみ手をおいておられる。なぜなら、すべてはこのお方に属するからである。このお方は次のように言われる。わたしは世界の所有者である。宇宙はわたしのものである。そしてわたしの祝福を通して、わたしがあなたの手にもたらしたすべてのものの初穂を、わたしの奉仕のために捧げることをあなたに要求する。」（管理職への勧告 72）

「金銭はわたしたちのものではない。家や土地、絵画や家具、衣服やぜいたく品もわたしたちの者ではない。わたしたちは寄留者であり、他国人である。ただ健康と生活に必要なそれらのものをさづかったものとして持っているだけである。……わたしたちのこの世の祝福は、わたしたちが永遠の富を預かることができるか否かを試すために保管すべく与えられているのである。もしわたしたちが神の与えられるこの試験に持ちこたえるなら、わたしたちは自分のものとなるために買われた財産である栄光と誉と永遠の命を受けるのである。」（アドベンチスト・ホーム 413, 414）

2. 感謝、自発的、また愆祭（けんさい）の供え物

a. 聖書は、捧げることに、わたしたちに何を教えていますか（詩篇 50:14; 116:12）。

「ヤコブは神に感謝をいいあらわす必要を感じた。そして特別に神の恵みのしるしを与えられたならば、神に返礼すべきであると思った。それと同様に、われわれも、与えられるあらゆる祝福に対して、すべてのあわれみの源泉であられる神に感謝をあらわさなければならない。……

われわれの時間、才能、財産などは、これらの祝福をわれわれに委託された神にささげるべきである。われわれが特別に危険から救出されるとか、または、新しい予期しない恵みにあずかる場合には、言葉で感謝を表現するだけでなく、ヤコブのように神のわざのためにささげ物や献金をして、神の恵みに感謝しよう。われわれは絶えず神の恵みを受けているのであるから、絶えずささげるべきである。」（人類のあけぼの上巻 201, 202）

b. なぜ、ヒゼキヤはユダにおいて改革の必要を認めたのですか（歴代志下 29:1-7, 27-33）。わたしたちもまた今日、どの改革が必要ですか。

「大変な義務の怠慢があった。多くの人々は神がご自分のものとして主張しておられる資金を差し控え、そうすることによって、神に対して盗みを働いている。彼らの利己的な心は、神がご自分のものだとして主張しておられる彼らのすべての収入の十分の一を捧げてこなかった。また彼らは自分たちの自由献金や感謝献金、愆祭をもって年ごとの集会に来なかった。多くの人々は主の前に空手できた。『「どうしてわれわれは、あなたの物を盗んでいるのか」と言う。十分の一と、ささげ物をもってである。』（マラキ 3:8）。」（教会への証 3 巻 510）

「あなたの愆祭、感謝献金、自由献金を携えてきて、主の前にあなたの心を低くしなさい。そうすれば、このお方はいつでも受け入れ、許す準備があることがわかる。」（レビュー・アンド・ヘラルド 1880 年 7 月 8 日）

「〔主の〕使命者たちは、命のみ言葉を全面に掲げる働きにおいて、不利な条件を負わされるべきではない。彼らが真理を教えるときに、彼らはみ働きを前進させるために投資する資金を持っているべきである。この働きは、最高にして最大の救いの感化力を持つために、正しい時になされなければならない。憐れみの行為がなされなくてはならない。貧しい人や苦しむ人が助けを受けなければならない。この目的のために贈り物や捧げ物が用いられるべきである。特に真理の旗じるしが一度も掲げられたことのない新しい伝道地では、この働きがなされなくてはならない。」（教会への証 6 巻 384, 385）

3. レビ族の寛大さ

a. 神はどのように義務と祝福を結びつけられましたか（箴言 11:24, 25）。

「レビ族の時代は、著しく、財産の聖化によって区別されていた。わたしたちが宗教的な目的のためのユダヤ人の献金の標準として什一について語るとしたら、理解して語っているとは言えない。主はご自分の要求を最上位に保たれ、ほとんどすべてのものにおいて、彼らは神にお返しすることを要求されることによって、与え主を思い起こされるのであった。……

良心的なわずかな者は、宗教的関心事の援助のために、また貧しい人々のために、自分たちの全収入のやく三分の一を神にお返しした。これらの支払は、特定の階級からではなく、すべての人々からであり、要求は持っている金額に比例していた。」（教会への証 4 巻 467, 468〔筆者強調〕）

「神の民が、世のどの時代にあっても、快活に自ら組織だった慈善と捧げ物や献金における神のご計画を実行するときはいつでも、ちょうど彼らが神のご要求に従ったのに比例して、彼らの労働に繁栄が伴うとの永続的な約束を実感した。」（同上 3 巻 395）

b. 金銭上の誓約や誓いをなすとき、わたしたちは決して何を忘れてはなりませんか（伝道の書 5:4, 5; 詩篇 66:13, 14）。

「神はご自分の教会員がご自分に対する彼らの義務を、商売や市場に対する負債と同様に拘束力のあるものとして考えるように望んでおられる。一人びとりは自分の過去の生活を振り返り、支払っていなかったり、贖っていなかったりする誓いがなおざりにされていないか調べなさい。それから、『最後の二コドラントを支払ってしまいうまで』さらに努力しなさい。なぜなら、わたしたちはみな、正直と誠実しかテストに耐えることのできない裁判の最終的な判決に直面し、受けることになるからである。」（同上 4 巻 476）

「神はわたしたちの時間と財産の特定された一部を無条件に取りおかれた。これらのご要求を無視することは、神から盗むことである。クリスチャンは、ユダヤ時代の特権よりはるかにすぐれていると自慢する。そうであれば、わたしたちは神のいにしえの民よりも少なく神のみ事業に捧げること満足するのであろうか。什一は、彼らの惜しみない献金の一部でしかなかった。当時も今も変わらない義務である自由献金、感謝献金の他に、数々の他の捧げ物が要求された。」（ビュー・アヘッド 1882 年 5 月 16 日）

4. 第二の什一

- a. ヘブル制度において、何が第二の什一でしたか。また、その目的は何でしたか（申命記 14:22, 23, 27-29; 26:12, 13）。

「貧者のために備えると同様に、人々が集会に集まることを奨励するために、すべての収入の第二の十分の一が要求された。第一の十分の一について、主は、『わたしはレビの子孫にはイスラエルにおいて、すべて十分の一を嗣業として与え』と言われた（民数記 18:21）。しかし、第二の十分の一については、次のようにお命じになった。『そしてあなたの神、主の前、すなわち主がその名を置くために選ばれる場所で、穀物と、ぶどう酒と、油との十分の一と、牛、羊のういごを食べ、こうして常にあなたの神、主を恐れることを学ばなければならない』（申命記 14:23, 29; 16:11-14 参照）。この十分の一、または、それと同額の金を二年の間、聖所が建てられたところに携えてくることになっていた。神に感謝のささげ物をささげ、祭司のために規定された分もささげたあとで、献納者はその残りの部分を宗教的祭りに用い、レビ人、他国人、孤児、寡婦などを呼んで食べさせなければならなかった。こうして年ごとの祭りのときに、感謝のささげ物をして、祭りを行なう準備がされていて、人々は、祭司やレビ人との交わりに導かれ、神の奉仕について教えと励ましを受けることができた。

ところが、三年めになるといつでもこの第二の十分の一は、……〔申命記 26:12 引用〕……レビ人や貧者を、家庭でもてなすことになっていた。この十分の一は、慈善ともてなしの資金を提供した。』（人類のあけぼの下巻 166-168）

- b. 第二の什一は、どのように霊的な意味において、捧げた者の益となりましたか。またどのような方法において、今日それは祝福となることができますか（箴言 19:17）。

「果樹園や田畑の収穫物であれ、家畜であれ、手や頭脳の仕事による収入であれ、あらゆる収入の十分の一を神に献納し、さらにまた第二の十分の一を貧民の救済やその他の慈善的な用途にあてることによって、人々は万物が神の所有であるという真理と、人は神の祝福をとりつづ機会を与えられているという事実を、たえず心に新たに感じさせられた。それは偏狭な利己心を殺し、広い高潔な品性を養うための一つの訓練であった。」（教育 38）

「新しい場所での熱心な伝道の働きをなすのに、第二の什一を用いる場所は、豊かにある。」（原稿リ-ス 7 巻 139）

5. 正しい精神をもって捧げる

- a. 神のみ事業に捧げるときに、わたしたちは何を悟るべきですか(マルコ 12:41-44)。わたしたちは初穂と他の献金の金額をどのように決めることができますか(申命記 16:17)。

『あなたは、わたしの主人にどれだけ負債がありますか』(ルカ 16:5)。それを述べるのは不可能である。わたしたちが持っているものはすべて神からのものである。このお方はわたしたちの財産に手をかけて、次のように言われる、『わたしは全宇宙の正当な所有者である。これらはわたしのものである。什一と献金をわたしに捧げなさい。あなたがこれらの特定されたものを、わたしの統治権への忠誠と服従のしるしとして携えてくるならば、わたしの祝福はあなたの財産を増し加え、あなたは豊かに持つようになる。』(教会への証 9 巻 245)

「宗教と慈善の目的のためにヘブル人に要求された献金額は、彼らの収入の四分の一に及んだ。人々の財産に、このような重税が課せられたのでは、人々は貧困に陥ってしまうと思われるであろう。ところが、この規則に忠実に従うことが、彼らの繁栄の条件の一つであった。」(人類のあけぼの下巻 161, 162)

- b. 主は、わたしたち一人ひとりがどのような態度を表すことを望んでおられますか(コリント第二 9:6, 7; マタイ 6:1-4)。

「主は、わたしたちの献金を必要とはしておられない。わたしたちは自分の贈り物でこのお方を富ませることはできない。詩篇記者は次のように言っている、『すべての物はあなたから出ます。われわれはあなたから受けて、あなたにささげたのです』(歴代志上 29:14)。しかし、神はわたしたちが自分の受けた神の憐れみを他の人々にも差し伸べるために自己犠牲の努力によって感謝を示すことを許しておられる。これが神へわたしたちの感謝と愛を表すことのできる唯一の方法である。このお方はそれ以外にはお備えになっていない。」(管理者への勧告 18, 19)

個人的な復習問題

1. なぜ主は初穂をご自分に捧げることを、わたしたちに要求なさるのですか。
2. 主は、今日なお、わたしたちのためにどのような種類の献金を規定しておられますか。
3. 捧げることにけるヘブル人の模範から、わたしたちは何を学ぶことができますか。
4. わたしたちの時代に、第二の什一は、どのような目的のために用いることができますか。
5. 神の御目に、捧げ物の価値はどのように量られますか。

神の倉：このお方の教会

暗唱聖句：「あなたがたも、それぞれ生ける石となって、霊の家に築き上げられ、聖なる祭司となって、イエス・キリストにより、神によるこぼれる霊のいけにえを、ささげなさい。」（ペテロ第一 2:5）

「キリストの教会は、このお方の御目に非常に尊い。それは、このお方の宝石の入っている宝石箱であり、このお方の群れをかこむ囲いである。」（信仰によってわたしは生きる 280）

推奨文献： 患難から栄光へ上巻 1-8

日曜日

11月27日

1. キリストの群れのための囲い

a. 神はなぜ、地上に教会をもっておられるのですか（ペテロ第一 2:5, 9）。

「教会は人類救済のために神がお定めになった機関である。教会は奉仕するために組織された。その使命は世界に福音を伝えることである。教会を通して神の満ちあふれる豊かさを世界に反映させることが、神のはじめからのご計画であった。暗やみから驚くべき光に招き入れられた教会員たちは、神の栄光をあらわさなければならない。教会はキリストの恵みに富んだ宝庫であり、教会を通して神の愛がついには『天上にあるもろもろの支配や権威』に対してさえも十分明らかに示されるのである（エペソ 3:10）。」（患難から栄光へ上巻 1）

b. 神の真の教会において、どのような特徴が重要不可欠ですか（黙示録 14:12; エペソ 4:4-6）。

「わたしたちは一致しなければならないが、誤謬の土台の上にはない。」（特別な証 B シーズ , No. 2, 47）

2. 安全な避難所

- a. わたしたちの心のうちにあるキリストのご臨在だけが(ヨハネ 15:4, 5)、わたしたちを真理のうちに一つにすることができるのですから、わたしたちは初期の弟子たちのどの模範を忘れるべきではありませんか(使徒行伝 1:13, 14; 2:46; 4:32)。

「[12 弟子たちは] いろいろな欠点と、みな先天的後天的な悪への傾向を持ったまま集められた。しかしキリストのうちにあって、またキリストを通して、彼らは、神の家族のうちに住み、信仰において、教理において、精神において一つとなることを学ぶのであった。彼らは、試練も、苦情も、意見の相違もあったが、しかしキリストが彼らの心に住んでおられるかぎり、不和があるはずはなかった。キリストの愛がお互の愛となり、主の教訓がすべての不和を一致へみちびき、弟子たちは一体となって、ついには一つの心、一つの判断となるのであった。」(各時代の希望上巻 381, 382)

- b. わたしたちがキリストに自分の生涯をおゆだねするとき、各々にどのような責任がもたらされますか(テモテ第一 3:15)。

「キリストとキリストの教会との関係は非常に密接でありまた神聖である。キリストは花婿であり、教会は花嫁である。キリストはかしらであり教会は身体である。したがってキリストにつながることはキリストの教会につながることになる。

教会は奉仕のために組織されているのであって、キリストに奉仕する人生の第一歩はまず教会につながることでなければならない。キリストに忠誠をつくす者には教会の義務を忠実に果たすことが要求される。」(教育 317)

- c. どの特権が、神の真の教会の各教会員に及んでいますか(ヨハネ第一 1:7; ヘブル 10:24, 25)。

「説教は、魂の救いのためになされるべき働きにおいて小さい部分である。神の御霊が罪人に真理を説得し、彼らを教会のかいなの中におかれる。牧師たちは自分の役割を果たすかもしれないが、教会がなすべき働きを果たすことは決してできない。神はご自分の教会が信仰と経験において若い人々を養うように要求しておられる。彼らのところへ、噂話をするためではなく、祈って彼らに『銀の彫り物に金のりんごをはめたよう』な言葉を語るために行くべきである(箴言 25:11)。」(伝道 352)

3. 奉仕のために召される

a. 信徒のどの義務がしばしばなおざりにされていますか（詩篇 60:4）。

「わたしたちの組織された多くの教会において、真理の旗印がちりの中に引きずられている。なぜなら、教会員が神への奉仕をせずに、自分自身の楽しみに仕えているからである。彼らは魂をとりまく感化力を通して働いている。教えと模範によって、自己放縦や世俗的な服装の習慣や言葉や行動において、彼らは真理に反して、自己否定に反して、またキリストの柔和に反して証する。彼らは霊的に冷たく、キリストからは遠く離れている。もし彼らがキリストのみ足のあとに従っているならば、このお方の自己否定と、その自己犠牲にあずかる者となり、今にも滅びようとしている魂を引き上げて、救うことができるであろうに。」（原稿リ-ス 19 巻 173）

b. 何が、キリストの信徒一人びとりの召しですか（テモテ第二 2:1-4）。

「キリストの教会は人に尽すための組織であって、その標語は奉仕である。教会員は救いの隊長の下で戦うために訓練される兵士である。クリスチャンの伝道者、医者、教師には多くの者が認識している以上に広い働きがある。彼らは人々に奉仕するばかりでなく、その人々に奉仕することを教えなければならない。また正しい原則を教えるだけでなく、これらの原則を他人に分け与えることができるように聴衆を教育すべきである。実践を伴わぬ真理や人にわけ与えない真理はその生命力を失い、いやす力を失ってしまう。真理の祝福は他人にわけ与えて初めて持続することができるのである。」（ミストリー・オブ・ヒーリング 120, 121）

c. 何が教会を一致させるために助けとなりますか（ガラテヤ 6:2; エペソ 4:1-3）。

「教会は、宣教師である働き人と共感のうちに結ばれるまでは、神が到達するように望んでおられる立場にまで到達することができない。キリストが祈られた一致は、霊性が伝道の奉仕に持ちこまれ、また教会が使命を援助するための機関となるまでは、決して存在することができない。地元の伝道地にいる教会員が言葉だけでなく、行動において、自分たちの心からの援助をこれらの宣教師たちに与えるという自分たちにおかれた義務を自覚していることを示すまでは、宣教師たちの努力がなすべきことをなしとげることはない。」（管理者への勧告 47, 48）

4. 成長し、発展する

- a. 霊感は、どのように教会の信徒の成長と発展を描写していますか (エペソ 2:19–22; 4:14–16; コリント第一 3:9–13)。

「神はご自分を信じると主張する魂一人びとりを試しておられる。すべてのものにタラントが委ねられている。主は、それをつかって商売のできるご自分の財産を人にお与えになった。このお方は彼らをご自分の管理者となさり、金銭や家や土地を彼らの所有としておかれた。これらすべてのものは、主の財産としてみなされ、このお方のみ働きを前進させ、この世でこのお方のみ国を築くために用いるべきである。主の財産で取引をする際に、わたしたちはこのお方の神聖な委託物を自分自身に栄光を帰すために用いたり、利己的な衝動にふけることがないように、このお方に知恵を求めなければならない。委ねられている額はさまざまであるが、最も小さい賜物を持っている人々も、自分の財産のタラントが小さいからといって、それのできることは何もないと感じてはならない。」(教会への証 9 巻 245, 246)

「わたしたちの働きは、多くの賜物や遺産によって支えられてきたのではない。なぜなら、わたしたちのうちに裕福な人はほとんどいないからである。何がわたしたちの繁栄の秘訣であろうか。わたしたちは自分たちの救いの将の命令の下で動いてきた。神はわたしたちの一致した努力を祝福してこられた。真理は広められ、繁茂した。施設は増えていった。からし種は大木に成長した。組織の制度は、大成功であることが証明された。組織的な慈善は、聖書の計画に従って、開始された。体の『全身はすべての節々の助けにより、しっかりと組み合わされ』てきた (エペソ 4:16)。」(牧師への証 27)

- b. 信徒たちの間で、何がタラントや基金を最も効果的に用いられるようにしますか (コリント第一 1:10; 14:40)。その一方、多くの安息日遵守者の間で、何が多くを失わせますか。

「ああ、徹底した組織が重要不可欠であり、それが偽物の台頭を退け、神のみ言葉に裏付けられていない主張が間違いであることを証明するための最大の力となるときに、サタンはこの民の間に入り込み、働きの組織を乱すことをどれほど喜ぶことであろう! わたしたちは線を均衡に保ち、規制や秩序の制度が破たんしないようにしたいのである。この方法では、無秩序な要素がこの時代の働きを支配する許可を得ることはない。わたしたちは秩序、制度、行動の一致が最も重要不可欠な時代に生存している。」(牧師への証 228)

5. 最善の奉仕と信頼性

- a. わたしたちの伝道努力における成功を保証するために、キリストの信徒たちの間で、存在すべき状態を描写しなさい (ヨハネ 10:16; 13:35; 17:18-23)。

「わたしたちのメンバーが増えるにつれ、何らかのかたちの組織がなければ、大変な混乱となり、働きが成功のうちに進められないことは明らかである。牧会の援助を提供するために、新しい伝道地での働きを進めるために、教会と牧会を価値のない教会員から守るために、教会の財産を守るために、出版所を通して真理の出版を行うために、そしてそのほか多くの目的のために、組織は不可欠である。」(牧師への証 26)

「[天使は言った]、『教会は、神の言葉に逃れていって、これまで無視され、おろそかにされていた福音の秩序に、堅く立たなければならない』と天使は言った。これは教会が信仰において一致するためには、どうしても必要なことであった。」(初代文集 195)

「イエスは、ご自分の弟子たちが皆一つになるようにと祈られた。……わたしたちが、キリストの使命について世を説得し、世に対する神聖な信任状をになうのは、この一致を通してである。」(レビュー・アンド・ヘラルド 1890 年 3 月 11 日)

「もし兄弟や姉妹の間に問題があったならば、もしねたみ、悪意、苦々しさ、邪推が存在したならば、それらの罪を、通常の方法ではなく、あなたの兄弟もしくは姉妹のところへ個人的に行って告白しなさい。明確でありなさい。もしあなたが一つの悪をなし、彼らが二十の悪をなしていたなら、その一つを、あなたもあなたが違反者のかしらであるかのように告白しなさい。彼らの手を取り、あなたの心を神の御霊の感化の下にやわらげて、言いなさい。『わたしを許してくださいませ。わたしはあなたに対して正しい気持を抱いてきませんでした。わたしはすべての悪を正し、天の書物のなかでわたしに不利になるものが何一つ登録されていることがないようにしたいのです。わたしはきれいな記録を持たなければなりません』。考えてご覧なさい、このような動きに抵抗する人がいるであろうか。」(同上 1884 年 12 月 16 日)

個人的な復習問題

1. わたしたちは神の真の教会をどのように特定できますか。
2. なぜ、各個人の信徒にとって、教会員になることが重要なのですか。
3. わたしたちはどのような方法で、真理に不利となる証をする危険がありますか。
4. 教会における一致を促進する要素をいくつか挙げなさい。
5. わたしたちはどのように世に対する自分たちの神聖な信任をになうべきですか。

第一安息日献金 スペインカステジョンの礼拝堂のために

スペインは、スペイン王国としても知られていますが、ヨーロッパ連合の主権国家の一つです。統治形態は、議会君主制をとっています。この陽の良く照る気候的に多様性に富んだ国は、イベリヤ半島をポルトガルと二分しています。195,364 平方マイル (504,645 平方キロメートル) の国土を有し、人口は 4700 万人を超えています。キャステリャ語もしくはスペイン語が公用語です。主要な宗教 (約 96%) はローマ・カトリックですが、わずかに信奉者のうち 20% ほどの人が自分たちの信仰を実践していると主張しています。



1958 年に、最初のセブンスデー・アドベンチスト改革運動のグループが、バルセロナに組織されました。当時、わたしたちの国には良心の自由がありませんでしたが、今日、わたしたちはこの祝福を享受していることを感謝しています。すぐにマラガ市が、そしてその後に首都のマドリッドがわたしたちの働きセンターとなりました。教会の発展はゆっくりでしたが、神の導きを得て、確かな基礎が据えられました。

2000 年のはじめに、スペインは移民に門戸を開き、ルーマニア、ウクライナ、モルドバ、また中央や南アメリカから兄弟たちが到着し始めました。信徒仲間がさまざまな国から、様々な言語を話しながら、なお全員が同じ目的をもって、自分たちの生活費を稼ぐためにここへ来るのを見るのは、すばらしいことでした。何よりも、このカトリックの地で現代の真理を宣布することが、彼らの心にいだいていた宝でした。

どのような行動をとっても、反応があります。困難が生じます。どのように、どこで兄弟たちが自分たちの霊的な必要に応じ、同じ尊い信仰をもった仲間と交わるのか。建物を借りるというのが最初の解決法でした。しかし、それはまもなく、何十、さらに何百もの兄弟たちの到着が続き、特に首都では、間に合わなくなりました。

そこで、2019 年に、スペインフィールドの役員たちは、満場一致で、東海岸にある町の一つカステジョン・デ・ラ・プラナの教会と共に、教会の現在と将来の必要に見合い、解決する地所を購入することを決定しました。この地所はすでに購入されましたが、大幅な修復が必要とされており、非常な金額を伴います。そして、わたしたちの資金は限られています。そこで、世界中の安息日学校のメンバーである兄弟姉妹友人がたに、カステジョンにおける礼拝堂のために惜しみない献金をお願いいたします。

「施し散らして、なお富を増す人があり」(箴言 11:24)。先だってお礼申し上げます。

スペインから皆さんの兄弟姉妹より

神の働きに 資金を供給する

暗唱聖句：「わたしたちは神の同労者である。あなたがたは神の畑であり、神の建物である。」（コリント第一 3:9）

「神は、人々を神の管理者になさった。神が人々の手にお任せになった財産は、福音を広く伝えるために神がお備えになった資金である。」（人類のあけぼの下巻 165）

推奨文献： 教会への証 4 巻 571-575, 645, 646

日曜日

12 月 4 日

1. 一人びとりに何かが

- a. 神の散らされている羊を完全にし、一つにする神の方法は何ですか（エペソ 4:11-16）。

「わたしたちの救い主は、ご自分の牧師たちを遣わすために、人々に賜物をお与えになった。なぜなら、彼らを通して、ご自分が世に命のみ言葉をお伝えになるからである。これが知識と真の聖潔において聖徒たちを完全にするために、神が定められた手段である。」（教会への証 5 巻 237）

- b. これは、どのように信徒一人びとりのための義務と特権と関わっていますか（コリント第一 3:7, 8）。

「主は、福音の宣布をご自分の民の献身した能力と自発的な賜物や捧げ物に依存するようになさった。このお方はみ言葉を説くように人を召される一方で、自分たちの資金を働きの援助のために捧げることによって、働きにあずかることを教会全体の特権としておられる。」（天国で 303）

2. 警告と励まし

- a. 多くの人々は、今日どのようにナダブとアビフの罪を繰り返していますか（レビ記 10:1, 2）。

「神のみ働きの援助のために与えられたこのお方の指示の中で、どこにわたしたちはバザーやコンサート、派手な販売会や同様の娯楽について述べているのを見出すのであろうか。主のみ事業は、まさにこのお方がそのみ言葉の中で禁じられていることに一神から思いをそらし、節度から、敬神や聖潔からそらすものに一依存しなければならないのであろうか。

そして不信者の思いには、なんという印象を与えることであろう。神のみ言葉の聖なる旗じるしはちりの中にまで低められている。神とクリスチャンの名に、軽蔑が投げかけられている。最も堕落した原則が、この聖書的でない資金の集め方によって強められている。そしてこれこそ、サタンの望むとおりである。人はナダブとアビフの罪を繰り返している。彼らは神の奉仕において、聖なる火の代わりに異火を用いている。主はそのような捧げ物をお受入れにならない。」（管理者への勧告 204, 205）

- b. 資金を集めたモーセの方法とイスラエル人の反応から、わたしたちは何を学ぶことができますか（出エジプト記 35:4, 5, 21, 29; 36:3-7）。

「幕屋建設のためのモーセの募金計画は、大成功であった。勧める必要はなかった。現代の教会がよく行なうような方法は何一つ用いなかった。彼は、大宴会を開かなかった。また、人々をはなやかなところ、ダンスの場所、一般の娯楽場などに招待しなかった。神の幕屋の建設資金を得るために、宝くじや、この種の世俗の方法を制定しなかった。主は、イスラエルの子らに、ささげ物を携えてくるように頼めとお命じになった。モーセは、心から喜んでささげる者からは、だれからでもささげ物を受け取った。そして、全部用いることができないほどたくさんのささげ物を人々が携えて来たので、モーセは、人々にもう持って来ないようにと命じたほどであった。」（人類のあけぼの下巻 164, 165）

「あなたは神があなたに与えてくださった豊かさの中から、あなたの贈り物と捧げ物を携えてきたであろうか。あなたはこのお方がご自分のものだと言張なさるものをお捧げしたであろうか。まだであれば、今でも過ちを正すのに遅すぎることはない。イエスの御霊は魂に充滿している氷のような利己心を溶かすことができる。」（ビュー・アンド・ワールド 1896 年 10 月 13 日）

3. 实际的な勧告

- a. わたしたちはどのようにメロズの受けたのろいを受ける危険性がありますか（士師記 5:23）。

「〔士師記 5:23 引用〕。メロズは何をしたのであろうか。何もしなかったのである。これが彼らの罪であった。神ののろいは、彼らがしなかったことに対して、彼らの上に下った。」（教会への証 2 巻 284）

「利己心の実はいつも、義務の怠慢と、神の委ねられた賜物をこのお方の働きの前進のために用いないことに現れる。」（管理職への勧告 26）

「魂を救うために用いられるのに、ほんのわずかな額の資金が主の金庫に流れ込む。そして、これが得られたとしても、それは大変な働きを伴うのである。蔓延している貪欲がどれほど神のみ働きの前進を妨げているか、またもしすべての人が什一や献金における神のご計画に従って行動しているならば、どれほど多くのことができたはずであるかを見るために、すべての人の目が開かれるならば、多くの人の側で徹底的な改革がなされることであろう。なぜなら、彼らはこれまでしてきたように、あえて神のみ事業の進展の働きを妨げようとはしないからである。」（教会への証 4 巻 483）

- b. 聖書は、個人の経済について、何を教えていますか（箴言 21:20; ヨハネ 6:12）。

- c. どのような方法で、今日のマケドニアの叫びは、わたしたち一人びとりから何かを要求し、またどのように、わたしたちはそれらに注意を払うことによって祝福されますか（使徒行伝 16:9, 10）。

「各自は、イエスのために自分のなしうるすべてのことをなすため、個人的な努力によって、賜物によって、また犠牲によって奮闘すべきである。至る所から聞こえてくるマケドニアの叫びに応えることができるように、主の家には食物と金庫いっぱいの資金があるべきである。わたしたちが助けを求めて叫ぶ人々に次のように言わなければならないとしたら、なんと遺憾なことであろう。『わたしたちは人もお金も送ることができません。金庫が空っぽなのですから。』」（管理職への勧告 298）

「わたしたちは節約できるすべての資金を主の金庫におくべきである。この資金は、困窮していてまだ働きのなされていない伝道地が求めている。多くの地域から、叫びが響いている、『渡ってきて、わたしたちを助けて下さい』（使徒行伝 16:9）。わたしたちの教会員は、地元や外国の伝道に深い関心を感じるべきである。彼らが新しい領域に真理の旗じるしを打ち立てるために自己犠牲的な努力を払うとき、大きな祝福が彼らにもたらされる。この働きに投資された金銭は、豊かな報酬をもたらす。」（教会への証 9 巻 49）

4. 神のご計画におけるわたしたちの役割

- a. わたしたちの什一と献金は、新しい伝道地を開くことにどのようにかかわっていますか (テモテ第一 5:17, 18)。

「什一は主のものである。そして、それを勝手にさわるものは、悔い改めない限り、自分たちの天の宝を失うことによって罰せられることになる。これ以上、什一が主の言われた唯一の行き先以外のさまざまな分野に分散されることによって、働きが行き詰ることのないようにしよう。これらの働きの他の分野のために備えがなされるべきである。それらは維持されるべきであるが、什一からではない。神は変わっておられない。什一はなおも牧会を支えるために用いられるべきである。新しい伝道地を開くためには、今以上に牧会の力が要求される。そして、金庫には資金がなくてはならないのである。」(福音宣伝者 227, 228)

「福音の宣布は、神が人の魂の改心のために定められた方法である。人が救われるためには、聞かなければならない。彼らは説教者がいなければ聞くことができない。であるから、説教者が送られなければならない。このため、宣教師が遠隔地にも行くことができるように資金を備えるべく金庫に基金が必要である。この事実に照らして、キリストに従うと公言する人々は、どうして神ご自身が委ねて下さったタラントを什一や献金において神から盗むことができようか。それは飢えた魂にパンを拒否することではないだろうか。魂が救われるための備えとなるように、神がご自身のものであると主張しておられる資金を差し出さないことは、こうして神から盗む人々の上に、確実にのろいをもたらすことになる。キリストがそのために死なれた魂は、失われた者の啓発のために神が備えてくださった手段を実行することを人々が拒むがゆえに、真理を聞くという特権を与えられないのである。

金銭は、福音の働きを何か神秘的な方法で、また目に見えない神秘的な代理人を通して実行するために、供給されることはない。神はご自分の任命した働きをなし、わたしたちの世界に真理を蒔き、魂を永遠の命へ救うために、天の窓から金銭を雨のように降らせることはなさらない。このお方はご自分の資金が人類を祝福することにおいて、ご自分の栄光のために用いられるように、ご自分の民をその管理者となさった。…神は天の窓から金銀を注ぎだすことはなさらない。しかし、それより無限に大きな価値を持つものを注ぎだしてくださる。このお方は、『わたしはわが霊をあなたがたの上に注ぎだす』と言われる。」(家庭伝道 1895 年 4 月 1 日)

- b. ダビデはわたしたちが惜しみなく捧げる者となるように、どのように奨励していますか (歴代志上 29:10-14)。

「神の定めたこの計画にしたがって、あらゆる所得の十分の一や惜しみないさげものなど、資産が倉に蓄えられるならば、主のみわざはゆたかに進展するのである。」(患難から栄光へ上巻 76)

「もし神のご計画に従っているならば、いまこのお方の金庫に資金が流れ込んでいるはずである。そして牧師たちが新しい伝道地に入り、また地の暗い場所に真理の旗印を掲げるために働き人たちが牧師たちに加わるための基金は豊かにあるはずである。」(教会への証 6 巻 386)

5. 責任と特権

- a. 神の民は、どのようにキリストが栄光の雲に乗って戻られるのを早めたり、遅らせたりしますか（ペテロ第二 3:11, 12）。

「キリストの教会が命じられた働きを主がお定めになった通りにしていたら、全世界に対する警告はすでに終わって、主イエスは力と大いなる栄光をもってこの地上においてになっていたのである。」（各時代の希望下巻 101, 102）

「神の働きは現在の十倍の力と効果をもって進められるべきであるが、神の民だと公言するある人々が、神の奉仕に捧げられるべき資金を自分自身のために横領しているために、ちょうど春が冬の冷たい突風によってとどめられているように、それもおしとどめられている。キリストの自己犠牲的な愛が生活習慣に織り込まれていないために、教会は強くあるべきところで弱い。教会自身の方針によって、光を消してしまい、何百万もの人からキリストの福音を奪っている。」（管理職への勧告 54）

- b. どのような特権が、信徒一人びとりに及んでいますか（コリント第一 3:9）。

「神は人を、地上においてご自分の王国を前進させる偉大な働きにおけるご自分の分配人、または共同者となさった。しかし、彼らは不忠実な僕の取った道をたどり、そうすることによって人に与えられた中で最も尊い特権を失うことも可能である。何千年もの間、神は人間の代理人を通して働いてこられた。しかしご自分の意のままに、このお方は利己的な者、金銭を愛する者、貪欲な者を落とすこともおできになる。このお方はわたしたちの資金に依存しておられないし、また人間の代理人によって制限されることもない。このお方はわたしたちがそれにまったく参加しなくても、ご自身の働きを進めることがおできになる。しかし、わたしたちのうちでだれが、主にそうされることを喜ぶであろうか。」（同上 198, 199）

個人的な復習問題

1. 神の民を完全にし、一致させるのを助けることのできる一つの方法は何ですか。
2. 誤った基金の集め方は、どのように神の方法と対照をなしていますか。
3. 個人的な小さな支出が、どのように神のみ働きを妨げますか。
4. もしすべての者が、ダビデの寛大さを培ったならば、何が起こるはずですか。
5. わたしたちはどのように主の再臨を早めたり、遅らせたりすることができますか。

聖書的な財務の諸原則

暗唱聖句：「もし、あなたがあなたの神、主の声に聞き従うならば、このもろもろの祝福はあなたに臨み、あなたに及ぶであろう。」（申命記 28:2）

「われわれは天に宝を蓄積するとき、この世の生活も必ずそれによって豊かになり高潔になることを見いだすであろう。」（教育 161）

推奨文献： 患難から栄光へ上巻 70-77;
教育 149-161

日曜日

12月11日

1. 個人的な財政

- a. 主のみ事業をなおざりにすることから、今も永遠もどのような結果となりますか（ハガイ 1:5-11）。

「利己的に自分たちの資金を差し出さずにいる人々は、もし神のみ手が散らされても驚く必要はない。神のみ働きとみ事業の前進のために捧げられるべきであったのに、差し出さずにいたものは、向う見ずな息子に委ねられて、彼が散財してしまうかもしれない。むなしい心の誇りであった立派な馬が、厩舎（きゅうしゃ）で死んでいるのが発見されるかもしれない。ときおり、牛が死ぬかもしれない。果実や他の作物の損失があるかもしれない。神はご自分が管理者に貸し与えられた資金を、彼らのご自分の栄光のために用いることを拒むならば、散らすことがおできになる。ある人々は、義務における自分たちの怠慢を思い起こさせるこれらの損失が一つもないかもしれないが、彼らの場合はもっと希望がないかもしれないのである。」（教会への証 2 巻 661, 662）

「あなたの会計簿の中でキリストを告白することをなおざりにすると、あなたの名を小羊の命の書に登録していただくという偉大な特権から、あなたを切り離すことになる。」（わたしたちの高い召し 192）

- b. 助けを申し出るよりは、いつも助けを求めることが習慣になっているすべての人は、何を考慮すべきですか（申命記 28:12, 13）。

「キリストの栄光にあずかる者は、このお方の働きにもあずかる者となって、弱い人、惨めな人、意気消沈した人を助けなければならない。」（管理職への勧告 59）

2. 条件的な約束

- a. 神はご自分の民のために、今日でさえ、何を望んでおられますか (申命記 28:1-6)。

『荒野に主の道を備え、さばくに、われわれの神のために、大路をまっすぐにせよ』とのみ言葉が、一人びとりの信者に及んでいる (イザヤ 40:3)。自分自身で、資金の支出を節約しなさい。自己否定の最初の一步は、たいてい最も難しいのであるが、ただちに始めなさい。あなたの自己否定の捧げ物は、墮落した世に与えられる最後の憐れみのメッセージを伝えるべく働き人を送るためにこの伝道地で用いられるであろう。」(世界総会冊子 1899 年 4 月 1 日)

「ユダヤ民族よりも、はるかに優れた特権にあずかっているクリスチャンたちが、彼らよりも少なくさげすむことは、神のみこころではない。『多く与えられた者からは多く求められ』ると救い主は言われた (ルカ 12:48)。ヘブル人に要求された物惜しみしない心は、主として、彼ら自身の国の利益のためであった。今日、神の働きは、全世界にひろがっている。キリストは、弟子たちの手に福音の宝をゆだね、救いの喜びの知らせを全世界に伝える責任を彼らに負わせられた。確かに、われわれの義務は古代イスラエルの人々よりはるかに大きいのである。」(患難から栄光へ下巻 18)

- b. 神の資金的な計画に従うすべての人々に、どの約束が保証されていますか (マラキ 3:11, 12)。

「だれでも自分はこの救いのとうとい働きを前進させる上にその一端を負っているのだと感じることができる。男も女も青少年も主の会計となって、財政上の要求に応じる一手段となることができる。使徒パウロは『あなたがたはそれぞれ、いくらでも収入に応じて手もとにたくわえてお……くようにしなさい』と言っている (コリント第一 16:2)。

この制度によって大きな目的が達成される。すべての人がみなこの制度をうけ入れるならば、各々神のために用心深い忠実な会計係となることができる。そうすれば、世界に最後の警告メッセージを叫ぶこの大いなる働きを前進させるための費用に欠乏することがない。みな、この制度を採用すれば、金庫は一ぱいになり、献金者もそのために貧しくなることはない。神の事業に投資するたびにますます現代の真理と密接な関係を持つようになる。」(青年への使命 303)

3. キリストの時代からの教訓

- a. どのようにベツレヘムの幼子への博士たちの献身が、わたしたちの励ましとなることができますか（マタイ 2:1, 2, 11）。

「博士たちはあがない主をよろこび迎えた最初の人々の仲間だった。彼らの贈り物はイエスの足もとにささげられた最初の贈り物だった。その贈り物によって、彼らは何というとうい奉仕の特権をわがものとしたことだろう。神は愛の心から出た贈り物をよろこんでとうとび、神への奉仕にそれを最も効果的にお使いになる。心をイエスにささげたなら、われわれもまた贈り物をイエスのもとに持参するであろう。われわれの金も銀も、われわれのどんなに貴重なこの世の財産も、またわれわれの最高の知的霊的才能もみな、われわれを愛し、われわれのためにご自身をお与えになったイエスに惜しみなくささげられるであろう。」（各時代の希望上巻 56）

- b. マリヤがイエスに油を注いだことから、わたしたちは何を学ぶべきですか（マルコ 14:3）。

「神のみ事業に捧げるべき割合を決めるときに、義務の要求に足りないよりはむしろ、超えることを確かめなさい。献金がどなたに捧げられているのかを考えなさい。この記憶によって貪欲は逃げ去る。ただキリストわたしたちを愛して下さった大きな愛を考えなさい。そうすれば、わたしたちの最も富んだ捧げ物がこのお方に受け入れていただく価値のないものに見えるようになる。キリストがわたしたちの愛情の対象であられるとき、このお方の許しの愛を受けてきた人々は、高価な香油の石膏のつぼの価値を計算することをやめるようになる。貪欲なユダはそうすることができた。しかし、救いの賜物を受けた人は、捧げ物がもっと香り高く、もっと大きな価値をもっていないことを残念に思うだけである。」（教会への証 4 巻 485）

- c. 習慣的に愛に依存する人々は、どのように—マリヤのように—愛を与える者となることができますか（使徒行伝 20:35）。

「もし人生に成功してこなかった人々が、教えられることを望むなら、彼らは自己否定と厳密な儉約の習慣を身につけ、愛を受けるよりは、分け与える者となることに満足するよう自らを訓練することができる。怠け者の僕たちが大勢いる。もし彼らが自分たちの力でなし得ることをなすならば、他の人々を助けることにおいて、大きな祝福を経験し、じつに『受けるよりは与える方が、さいわいである』ことを悟るようになる（使徒行伝 20:35）。」（同上 3 巻 400, 401）

4. 使徒たちの時代に

- a. 福音を宣布するにあたり、わたしたちはどのような目的の強さを初期のクリスチャンたちと共にすべきですか (使徒行伝 4:32-37)。

「〔使徒行伝 4:34, 35 引用〕。信者たちのこのような寛容さは、聖霊が注がれた結果であった。福音を受け入れた人々はみな、『心をつつにし思いをつつにし』た(32節)。彼らの心はただ一つの共通な関心事に支配されていた。それは彼らに委託された伝道事業を成功させることであった。彼らの生活に、貪欲がはいり込む余地はなかった。兄弟たちへの愛や自分たちが引き受けた働きに対する愛は、金銭や所有物に対する愛よりも強かった。彼らは地上の富よりも人の魂を高く評価していることを、実際の働きで証拠だてた。

神のみ霊が生活を支配するときには、常にこのようなことが起こるのである。心がキリストの愛で満たされている人々は、ご自身の貧しさによってわれわれが富むものとなるように、われわれのために貧しくなられたキリストの模範に従う。金銭、時間、感化力など、神のみ手からさずけられた賜物すべてを、彼らはただ福音のわざを進展させる手段として重んじるのである。初代教会ではそうであった。そして、今日も、教会の中で、教会員たちが聖霊の力に導かれて、世俗的なことがらへの愛着を捨て、自分たちの同胞に福音を伝えるために、よろこんで犠牲をはらうことが見られるならば、宣べ伝えられる真理は、聞くものの心を力強く動かすであろう。」(患難から栄光へ下巻 70, 71)

- b. わたしたちはアナニヤとサツピラの巧妙な欺瞞とその悲惨な結果から、何を学ぶことができますか (使徒行伝 5:1-11)。

「自己犠牲と惜しみない心とクリスチャン信仰への献身のために評判を得たくて、アナニヤとサツピラは自分たちの財産を売って、その利益の一部を、あたかも全部捧げたかのように装って、使徒たちの足元に置いた。彼らは自分たちの持っているものをすべてみ事業のために捧げるようにと迫られたのではなかった。神は一部でもお受入れになったはずであった。しかし、彼らは全部捧げたと思われたかった。こうして彼らは自分たちの熱望する評判を得ながら、同時に自分たちの金銭の一部を取っておけると思った。彼らは自分たちの策略に成功したと思った。しかし、彼らは主を欺いていたのであった。そして主はこれを、すなわち新しく組織された教会における最初の欺瞞と虚言の事件をただちに処置なさった。主は恩寵を得るために真理を犠牲にする危険について、すべての人に対する警告として、両者とも殺された。」(医事伝道 126, 127)

5. 秩序だった自己否定

- a. 地上での神のみ事業の運営と資金的な持続性において、何を悟らなければなりませんか（コリント第一 14:33）。

「神はみわざに承認の印をおすことができるように、それが完璧に正確に進められることを望んでおられる。クリスチャンはクリスチャンと、教会は教会と一致しなければならない。」（患難から栄光へ上巻 99）

- b. 神の忠実な民が例示してきた自己否定の方法から、わたしたちは何を学ばなければなりませんか（ヘブル 11:8-10, 24-26, 37-40）。

「真理に耳を傾け、それを奉じる人がわずかしがなく、しかもこの世の財産はあまり持っていなかった時があった。そのとき、ある人々は自分たちの家や土地を売り、もっと安いものを手に入れる必要があったが、その一方、彼らの資金は、真理を出版するために、あるいは神のみ事業を前進させる際に別の方法で助けるために主に惜しみなく貸し与えられた。これらの自己犠牲的な人々は、欠乏に耐えた。しかし、もし彼らが最後まで耐え忍ぶならば、彼らの報いは大きい。

神は多くの人々の心に働きかけてこられた。わずかな人々が犠牲を払ってきた真理は大いに勝利し、群衆がそれをつかんだ。神のみ摂理において、働きが増し加わるにつれ、このお方のみ事業の必要が満たされるために、資金をもっている人々が真理に導き入れられた。神は今、ご自分の民が住む必要のある家を求めてはもられないが、もし豊かに持っている人々がこのお方のみ声を聞かず、世から逃れず、神のために犠牲を払わないなら、このお方は彼らをやり過ごして、イエスのために喜んで何でも、すなわち、み事業の必要に応じるために自分たちの家を売却することさえする人々を召される。神は自由意志の献金をお受けになる。捧げるものは、そうすることを特権だとみなさなければならない。」（管理職への勧告 215）

個人的な復習問題

1. 愛を受ける者が、どのようにそれを分け与える者となることができますか。
2. わたしたちの慈善は、昔のユダヤ人の慈善と、どのように対比すべきですか。
3. キリストの時代のどのような寛大さの模範がわたしたちを鼓舞すべきですか。
4. 初期のキリスト教会の精神から、わたしたちは何を学ぶことができますか。
5. 現代の真理の先駆者たちの自己否定は、どのように今日よみがえることができますか。

働きを完了する

暗唱聖句：「全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えよ。」（マルコ 16:15）

「尊い真理の光に喜んでいる人々は、それをいたるところに伝えたいとの燃えるような願いを感じるべきである。」（管理職への勧告 42）

推奨文献： 教会への証 9 巻 51-60；
同上 3 巻 382-385

日曜日

12月18日

1. マケドニヤの叫びに答える

- a. 文書は力強い伝道の道具ではありますが、福音の任務を完成するためには、どのような段階をふまねばなりません（マタイ 28:18-20）。この勤勉な福音の働き人の必要は、どのようにしてのみ、満たすことができますか（イザヤ 52:7, 8）。

「神の家に食物があるために、すべての仕一を忠実に携えてくるというこの働きは、地元でも外国でも伝道地に働き人を供給する。現代の真理についての書物や出版物は世界のいたるところに知識の宝を注ぎ出しているが、なお伝道の拠点はさまざまな場所に設立されなければならない。生きた説教者が命と救いのみ言葉を宣布しなければならない。働き人に入るように招く開かれた伝道地がある。穀物は実り、働き人を求める熱心なマケドニヤの叫びが世界のいたるところから聞こえる。」（管理職への勧告 39）

- b. どのような緊急な働きがなされる必要がありますか（マルコ 16:15）。

「わたしたちの働きの大きさは、神の民の側の自発的な惜しみない心を要求している。アフリカで、中国で、インドで、何千も、しかり、何百万も、この時代のための真理のメッセージを聞いたことのない人々がいる。彼らは警告を受けなければならない。海の島々は神の知識を待っている。」（教会への証 9 巻 51）

2. 神の仕一の重要さ

- a. 魂の救いにおける個人的な人間の要素を、靈感はどのように強調していますか（ローマ 10:13-15）。わたしたちは、みなどのように関わることができますか（黙示録 22:17）。

「福音の宣布は、神が人の魂の改心のために定められた方法である。人が救われるためには、聞かなければならない。彼らは説教者がいなければ聞くことができない。であるから、説教者が送られなければならない。このため、宣教師が遠隔地にも行くことができるように資金を備えるべく金庫に基金が必要である。この事実にも照らして、キリストに従うと公言する人々は、どうして神ご自身が委ねて下さったタラントを仕一や献金において神から盗むことができようか。それは飢えた魂にパンを拒否することではないだろうか。魂が救われるための備えとなるように、神がご自身のものであると主張しておられる資金を差し出さないことは、こうして神から盗む人々の上に、確実にのろいをもたらすことになる。キリストがそのために死なれた魂は、失われた者の啓発のために神が備えてくださった手段を実行することを人々が拒むがゆえに、真理を聞くという特権を与えられないのである。」（家庭伝道 1895 年 4 月 1 日）

- b. もしわたしたちが時にかなって神の仕一をお戻しすることをなおざりにするなら、神は何を要求なさいますか（レビ記 27:31）。1889 年の地方の教会の経験は、どのように今日すべての人を励ましますか。

「神と正しい関係をもたないで、結果として自ら神から離れていた人々のうちの者は、自分たちが差し控えていたものを戻し始めた。ある兄弟は、二年間仕一を支払ってこなかった。彼は総会の書記に、自分が出さずにいた仕一と利子を上乘せした金額 571.50 ドルの手形を渡した。わたしは彼にこうする勇気のあったことを主に感謝した。他の人は、300 ドルの手形を渡した。神から背信し、これまで彼の足が再び義の道に踏み入れる希望はほとんどなかった別の男の人は、1,000 ドルの手形を渡した。これらの長い間滞納されていた仕一と献金を、中央ヨーロッパミッションに献金することが提案された。これらの献金とクリスマスの献金をあわせて、伝道事業にあてられるためにこの教会から金庫に入った金額は、ほぼ 6,000 ドルであった。」（教会への証 5 巻 643, 644）

3. 忠実な洞察力を学ぶ

- a. マリヤのイエスへの惜しめない心に対して、どのような反対がありましたか（ヨハネ 12:3-6）。キリストはどのようにマリヤをおほめになりましたか。またわたしたちは今日、同じような反対をすることに対して、どのように警告されていますか（マルコ 14:7-9）。

「わたしたちは漸進的に進んでいる。しかし、一步ごとに偏見や誤った考えが取り除かれなければならない。これは世界がかつて目撃してきたどの改革運動の場合も同様である。信仰が小さく、利己的で、金銭を愛する気質を持つ者にとって、前進の動き一つ一つは大災難と資金の大浪費の前兆を示してきた。彼らはイエスの頭に香油が注がれたときに、哀れなユダを感じたように感じてきた。なぜこんな無駄遣いをするのか、と彼は言った。これを売って、貧しい人々に与えることができたのに。くり返し何度も、前進の一步が踏み出されると、利己的で用心深い人々はすべてがだめになっていくと考えた。しかし、強い抵抗にもかかわらず闘いをたたかってきたとき、彼らは勝利を神が運動の中におられたしるしとして歓呼した。不信が認めなければならないほど、働きが神のものであることを完全に示されたときに、先導してきた人々、先見性が他の人よりすぐれていた人々、あらゆる反対に逆らって働いてきた人々は、その時のために立てられ、神の御霊に導かれた人物として称賛される。道をふさいだ人々は、自分たちのしてきた働きを自覚するであろうか。彼らは、自分たちの金銭、力、信仰、勇気が加えられていたら、働きはより強く、より影響力のあるものとなったはずであること、できたはずのことをしなかった彼らの怠慢は罪であることを認めるであろうか。……

十字架のそば近くで生きるなら、わたしたちは神がご覧になるように見ることができ、神がわたしたちに望んでおられるように働くことができる。」（レビュー・アソド・ヘラルド 1884 年 2 月 5 日）

- b. わたしたちは今、どのような現実を目覚めるべきですか（ヨハネ 4:35, 36）。

「金銭は、福音の働きを何か神秘的な方法で、また目に見えない神秘的な代理人を通して実行するために、供給されることはない。神はご自分の任命した働きをなし、わたしたちの世界に真理を蒔き、魂を永遠の命へ救うために、天の窓から金銭を雨のように降らせることはなさらない。このお方はご自分の資金が人類を祝福することにおいて、ご自分の栄光のために用いられるように、ご自分の民をその管理者となさった。」（家庭伝道 1895 年 4 月 1 日）

4. 味のある塩

- a. キリストを尊ぶことを求めるすべての人に、どのような忠告が与えられますか（マタイ 5:13）。

「一人びとりの忠実な管理者は、自分の献金をほんのわずかでも減らすよりは、主の宝庫に収める賜物の割合を大きくするために、どれほどもっと熱心になることであろう。彼はだれに仕えているのであろうか。だれのために献金を用意しているであろうか。自分が享受しているすべての良きもののために、全く依存しているお方のためである。そうであれば、キリストの恵みを受けているわたしたちはだれも、御使たちがわたしたちを恥じたり、イエスがわたしたちを兄弟と呼ぶことを恥とされるような機会を与えることがないようにしよう。……

キリストの恵みを受けている人々、カルバリーの十字架を熟考している人々は、捧げる割合に関して質問したりしない。かえって、最も豊かな捧げ物も、あまりにわずかで、無限の神のひとり子という大なる賜物に見合わないと感じるのである。自己否定を通して、最も貧しい者も、神にお返しするために何かを得る道を見出すようになる。」（管理職への勧告 200）

- b. 全地にわたって、現代の真理はどのように広められるべきですか（伝道の書 11:1, 6）。

「地の荒れたところは、耕作されるべきである。神にへりくだってより頼み、家族が、神のぶどう畑でまだ働いていない場所に出て行き、そこに定住すべきである。真理の種を蒔くための自己犠牲の報いとして、彼らは豊かな収穫を刈り取ることになる。」（ビュー・アンド・ヘアル[®] 1902 年 8 月 26 日）

- c. 今日何が最も緊急な召しですか。またなぜですか（マタイ 9:36-38）。

「神を知らない魂、またわたしたちの信仰の理由を聞く機会のなかった魂の損失は、だれが責めを負うべきであろうか。福音なく滅びつつある世に関して、教会にはどのような義務が課されているであろうか。真理を信じると主張している人々の側で、もっと決定的な自己否定がない限り、またすべての什一と献金を金庫に携えてくることにおいてもっと断固とした忠実さがない限り、またかつて実行に移されたことがないほど広い計画が立てられない限り、わたしたちは全世界に出て行って、すべての造られた者にキリストを宣布する福音の任務を果たすことはない。」（家庭伝道 1895 年 4 月 1 日）

5. 四方すべてを明るくする

- a. 福音の任務の栄光に満ちた結果はどのようなものですか。またわたしたちはそれに参加することにより、どのように祝福を受けることができますか（黙示録 18:1）。

「全天は個々の教会員が闇の中にいる人々を啓発するために何をしているかを見るために、教会を真剣に見ている。畑は世界であり、機会は非常に多く、働きは非常に広いため、必要な要求を満たすためには、手元にある資金の割合を上回っている。何年もの間、主は、ご自分の民に自分たちの必要を引き締め、不要な資金の支出をしないように、警告してこられた。しかし、始めから終わりをご存知であるお方の勧告にもかかわらず、どれほど金銭が不必要に費やされてきたことであろう。自分たち自身の野心的な事業を追求するために、与えられてきた警告は軽く見られ、また人々の思いは誤って解釈し、脇にそれ、もしくは神の勧告はゆがめられてきた。しかし、そうすることによって、神がご自分の真理を広めることにおいて、栄光を受けられ、尊ばれることができるはずの資金そのものが、その事業のもでなくなる。主は、真理の光が地のいたるところに輝くように、恵み深くも人々を天の知的存在者と協力するための人間の代理人として採用なさることによって、人を尊んでこられた。主は世がかつて目撃した中で最も大きな争闘に参加するご自分の代理人たちを持っておられる。もし働き人たちが身を低くし、日々キリストの学校で、柔和と心のへりくだりを学ぶならば、主イエスは彼らと共に働いてくださる。キリストと共に働く同労者は、天の恩恵を人々に与えるときに、自分自身が恩恵を受けることに気づく。彼は、『物惜しみしない者は富み、人を潤す者は自分も潤される』ことを知る（箴言 11:25）。」（レヴィエ・アノド・ヘラルド 1894 年 2 月 27 日）

個人的な復習問題

1. どのような意味において、文書は、その魂の救いの能力に限度がありますか。
2. 什一を捧げる時期の正確さを何が明らかにしていますか。
3. わたしたちはどのようにユダの罪を繰り返す危険があるかもしれませんか。
4. キリストにどれだけ捧げるかを決めるとき、何を考慮すべきですか。
5. 世はどのように明るくされますか—わたしたちがいてですか、いなくてもですか。

わたしたちの最後の機会！

暗唱聖句：「わたしたちは、わたしをつかわされたかたのわざを、昼の間にしなければならない。夜が来る。すると、だれも働けなくなる。」(ヨハネ 9:4)

「わたしたちはこの地上歴史の終わりに近づきつつある。そして、神のみ働きのさまざまな支部は、かつてなかったほど多くの自己犠牲をもって、進められなければならない。」(伝道 631)

推奨文献： 教会への証 4 巻 476-485
同上 6 巻 445-453

日曜日

12月25日

1. 命が終わる前に

- a. わたしたちはどのような現実の下にいますか (ヘブル 9:27)。このことは、わたしたち一人ひとり—老いも若きも、病む人も健康な人も—に何を考えさせるべきですか (ローマ 12:11)。

「活動的な実業家が何の警告もなく倒れて、調べてみると彼の事業はもっとも複雑な状態にあることがわかるということがよくある。彼の遺産を清算しようとする際、財産の全部ではなくても、かなりの部分が弁護士費用にとられてしまい、一方、彼の祭司やキリストのみ事業は奪われることになる。主の資金の忠実な管理者である人々は、自分たちの事業がどのような状態であるかをよくわかっており、賢者のように、どのような危急にも備えておくならば、彼らの恩恵期間が突然閉じるとき、彼らは自分たちの財産を清算するように求められる人々に、このような大変な難問を残すことをしない。

多くの人々は、一見健康そうに見える間に、自分たちの遺言書を作成するという主題にもとづいて動こうとしない。しかし、この事前措置は、わたしたちの兄弟によってとられるべきである。彼らは自分たちの資金的な状態を知り、自分たちの事業がもつれることのないようにすべきである。彼らは自分たちの財産をいつでも残していけるような方法で整理すべきである。」(教会への証 4 巻 482)

- b. わたしたちの意志を計画する際、何を考慮すべきですか (イザヤ 38:1)。

2. 終わりのために準備する

- a. 法にかなった遺言書を作成せずに死んだがゆえに、何千ドルもの損失があるのですから、どの必要に信徒たちの注意が向けられるべきですか（コリント第一4:2）。

「ある遺言書はあまりにもいい加減に作成されているため、法律のテストに耐えることができず、こうしてみ事業は何千ドルも失ってきた。わたしたちの兄弟は神のみ事業における忠実な僕として、この問題に関して自分たちの知性を働かせ、主ご自身のものを確保するという自分たちにおかれた責任を感じるべきである。

多くの人々はこの点において、不要な心遣いを表す。彼らは高齢者や病人に、どのような処分を計画しているかを知ろうと財産の主題を持ち出すとき、禁じられた領域に踏み込んでいると感じる。しかし、この義務は、魂の救いのためにみ言葉を説く義務とまったく同様に神聖である。ここに神の金銭や財産を手中にもつ人がいる。彼は自分の管理職を変えようとしている。彼は神がご自分のみ事業に用いるために彼に貸し与えられたものを、悪人の手に、単にその人が自分の親戚だからといって、その手に渡してしまうのであろうか。クリスチャンである人は、人の将来のためと同様に、神のみ事業のために関心を覚え、案じ、賢明に活用するために貸し与えられた主の金銭やタラントを正しく処分すべきではないだろうか。彼のそばにいる兄弟は、その人の命が絶えようとしているのと同時に、神の宝を盗もうとしているのを傍観するのであろうか。これは、彼自身にとっても、み事業にとっても、恐るべき損失である。なぜなら、資金という自分のタラントを神の真理に何の関心もない人々の手におくことによって、彼はあらゆる意味において、それを布にくるんで地に隠しているからである。」（教会への証 4 巻 479）

「兄弟がたよ、あなたがたが自分の遺言書を作成したからといって、死が一日として早く訪れることはない。遺言書によってあなたの財産を自分の親戚たちに譲渡する際、神のみ事業を忘れないようにしなさい。あなたは、このお方の財産を持ったこのお方の代理人である。だから、このお方のご要求こそあなたが第一に考えるべきことである。あなたの妻子は、もちろん貧困のうちに残り残されるべきではない。もし彼らが困窮しているのであれば、彼らのために備えがなされるべきである。しかし、単に習慣だからといって、あなたの遺言書に、困窮してもいい親戚の長いリストを連ねてはならない。」（同上 482）

- b. わたしたちが生きても死んでも、神は一人びとりに何をおぼえるように期待しておられますか（ローマ 14:8, 12）。

3. 最終的な働き

- a. この終わりの時代に、わたしたちの義務は何ですか（テサロニケ第一 5:1-6; ゼカリヤ 10:1）。わたしたちは後の雨、つまり「慰めの時」を、どのように受けることができますか（使徒行伝 3:19-21）。

「神の栄光によって全地を明るくする神の御霊の大いなる注ぎは、啓発された民、すなわち経験によって神と共に働く共労者となるということがどういう意味かを知る民を得るまでもたらされない。わたしたちがキリストの奉仕に完全に心を尽くして献身するなら、神は限りなくご自分の御霊を注がれることによって、その事実をお認めになる。しかし、これは教会の大部分が神と共に働く共労者とならない限り、そうはならない。神は利己心と自己放縦がこれほどあらわされているときに、すなわち、もし言葉にするとすれば、カインの答えを表明するような精神―『わたしが弟の番人でしょうか』（創世記 4:9）―が蔓延しているときは、ご自分の御霊を注ぐことはおできにならないのである。」（管理職への勧告 52）

「神は、眠っており、とがと罪のうちに死んでいる世に対して警告を与える人々を召しておられる。このお方は働きに心をささげ、魂が減びず、永遠の命を持つことができるように、彼らのために重荷を感じている人々から自由献金を求めておられる。」（教会への証 6 巻 446）

- b. 今日、個人としても、教会組織としても、わたしたちの思いの中で、何がもっとも先にあるべきですか（伝道の書 8:5; ヨハネ 9:4）。

「わたしたちは今、自分たちの救い主の指示に注意を払っているべきである。『自分の持ち物を売って、施しなさい。自分のために古びることのない財布をつくり、……天に、尽きることのない宝をたくわえなさい』（ルカ 12:33）。今こそ、財産を増やす代わりに、削減すべきときである。わたしたちはもつと良いふるさと、すなわち天へ移るばかりである。であるから、地上に住む者とならず、できるだけ身支度を身軽に整えよう。」（同上 5 巻 152）

「何のためにわたしたちは宝を蓄えるのであろうか。終わりの日の炎に一掃されるためであらうか。わたしたちは裁きの日にわたしたちに不利な証言をするために―わたしたちの肉を火のようになめつくすために―、金銀を蓄えるのであろうか。わたしたちが敵の手に落ちるときまで自分たちの財産に執着するのであろうか。戒めの遵守者たちが売ることでも買うこともできなくなるときが近づきつつある。家屋や土地、銀行株や商品は、そのときわたしたちにとって、何の役に立つのであろうか。今こそ、わたしたちの宝を永遠の安全なところにおくべき時である。」（ビュー・アット・ヘアルド 1887 年 12 月 6 日）

4. 实际的な準備

- a. なぜキリストはまだ戻られていないのですか（ペテロ第二 3:9）。わたしたちは、まもなく成就しようとしている預言のうちに、自分たちのすべての財産を失うことを、どのように避けることができますか（イザヤ 2:20; エゼキエル 7:19; 詩篇 96:2-8）。

「もし、わたしたちの兄弟が、魂の価値をイエスがその救いのためにどれほどの価を支払ったかという光のうちに量ることを学ぶならば、魂には家屋や土地、金や宝石、あるいは栄誉ある高い地位よりもはるかに価値のあることが分かるであろうに。」（レブ・アノ・ハルド 1884 年 2 月 5 日）

「神の働きはもっと広範囲に及ぶべきである。そして、もし神の民が神の勧告に従うならば、彼らの財産のうちで最後の大災害のときに焼き尽くされる資金はそれほどないであろう。すべての人は、自分の宝を虫も食わず、さびもつかないところへ蓄えてしまった。そして心には、この地にそれを結びつける絆がないのである。」（管理職への勧告 60）

- b. 忠実な犠牲を通して真剣にご自分の再臨のために準備をしているすべての人に、キリストはどの約束をしておられますか（イザヤ 33:14-17）。

「悩みの時の物質的 necessary のための準備をすることは、聖書に反することであることを、主は、繰り返してわたしに示された。もし聖徒たちが、自分たちのところ、または畑に食糧を貯えていたりしても、もし国に戦争、ききん、疫病が起これば、それは暴徒たちに奪い去られ、他人が畑の作物を刈るようになることを、わたしは見た。それは、われわれが神に全く信頼する時である。そして神はわれわれをお支えになる。その時に、われわれのパンと水は必ず与えられ、われわれが物に乏しかったり、飢えたりすることがないことを、わたしは見た。なぜならば、神は荒野で、われわれのために食卓の用意をすることがおできである。もし必要ならば、彼がエリヤを養われたように、われわれを養うためにからすを送ったり、あるいは、イスラエルのためになされたように、天からマナを降らせることもなさるのである。

悩みの時に、家や土地はなんの役にも立たなくなる。その時、彼らは怒り狂った群衆から逃げなければならない。そしてその時、彼らの財産は、現代の真理の働きを推進するために用いることができないからである。聖徒たちが、悩みの時がやってくる前にすべての邪魔物を切り捨てて、犠牲によって神と契約を結ぶことが、神のみこころであることを、わたしは示された。もし彼らが、財産を祭壇の上において、なすべき務めについて、熱心に神に祈り求めるならば、神は、これらのものをいつ処理すべきかを教えてください。そうすれば、彼らは悩みの時に自由になり、負担となる邪魔物がなくなる。」（初代文集 127, 128）

5. 高利回りの投資

- a. 今日、どこがなし得る最善の投資先ですか。それはなぜですか（ルカ 12:32-34）。

「わたしたちは主に対して正直になろう。わたしたちが享受するすべての祝福は、この方から来る。そしてもしこの方がわたしたちに資金というタラントをゆだね、ご自分のみ働きを助けることができるようにして下さったのであれば、それを出し惜しむのであろうか。わたしたちは、いいえ、主よ、と言うのであろうか。わたしの子らが喜ばないから、このお方のタラントを地に埋めて、あえて神に従わない、と。

一刻の猶予もならない。神のみ事業はあなたの援助を求めている。わたしたちは、多くの人々が何が真理かを知る機会を得るために、このお方の資金が流通するように、主の管理者としてあなたに求める。」（管理者への勧告 44, 45）

- b. 主は、終わりの時に、どのような宣言をしておられますか（詩篇 50:3-5）。犠牲によって契約を結ぶすべての人は、どのように豊かに報いられますか（コリント第一 15:51-58）。

「この伝道地に入る心を尽くした無我の働き人たちのために、また喜んで彼らを支えるために貢献する人々のためにも、報いがある。伝道地で活発な奉仕に携わる人々、これらの働き人たちを支えるために、自分たちの資金から捧げる人々は、忠実な者の報いにあずかる。……

働きを支えるために実践してきた自己否定は、もはや覚えられない。彼らは自分たちがイエスに勝ちとった魂をながめるとき、神のあわれみと贖い主の愛の記念である彼らが救われ、しかも永遠に救われたのを知るとき、天蓋（てんがい）に讃美と感謝の叫びが響きわたる。」（同上 348, 349）

個人的な復習問題

1. 遺言書を作成することについて、どのような迷信が神のみ事業に弊害をもたらしていますか。
2. なぜ、わたしたちは遺言書を作成することについて語ることをなおざりにすべきではないのですか。
3. 多くの人が後の雨を受けることに失敗する理由の一つは何ですか。
4. わたしたちは悩みの時に近づく前に何を悟るべきですか。
5. どのように、またいつ、天に蓄えられた宝の利子が支払われますか。

第一安息日献金 スペインカステジョンの礼拝堂のために

スペインは、スペイン王国としても知られていますが、ヨーロッパ連合の主権国家の一つです。統治形態は、議会君主制をとっています。この陽の良く照る気候的に多様性に富んだ国は、イベリヤ半島をポルトガルと二分しています。195,364 平方マイル (504,645 平方キロメートル) の国土を有し、人口は 4700 万人を超えています。キャステリヤ語もしくはスペイン語が公用語です。主要な宗教 (約 96%) はローマ・カトリックですが、わずかに信奉者のうち 20% ほどの人が自分たちの信仰を実践していると主張しています。



1958 年に、最初のセブンスデー・アドベンチスト改革運動のグループが、バルセロナに組織されました。当時、わたしたちの国には良心の自由がありませんでしたが、今日、わたしたちはこの祝福を享受していることを感謝しています。すぐにマラガ市が、そしてその後に首都のマドリッドがわたしたちの働きセンターとなりました。教会の発展はゆっくりでしたが、神の導きを得て、確かな基礎が据えられました。

2000 年のはじめに、スペインは移民に門戸を開き、ルーマニア、ウクライナ、モルドバ、また中央や南アメリカから兄弟たちが到着し始めました。信徒仲間がさまざまな国から、様々な言語を話しながら、なお全員が同じ目的をもって、自分たちの生活費を稼ぐためにここへ来るのを見るのは、すばらしいことでした。何よりも、このカトリックの地で現代の真理を宣布することが、彼らの心にいだいていた宝でした。

どのような行動をとっても、反応があります。困難が生じます。どのように、どこで兄弟たちが自分たちの霊的な必要に応じ、同じ尊い信仰をもった仲間と交わるのか。建物を借りるというのが最初の解決法でした。しかし、それはまもなく、何十、さらに何百もの兄弟たちの到着が続き、特に首都では、間に合わなくなりました。

そこで、2019 年に、スペインフィールドの役員たちは、満場一致で、東海岸にある町の一つカステジョン・デ・ラ・プラナの教会と共に、教会の現在と将来の必要に見合い、解決する地所を購入することを決定しました。この地所はすでに購入されましたが、大幅な修復が必要とされており、非常な金額を伴います。そして、わたしたちの資金は限られています。そこで、世界中の安息日学校のメンバーである兄弟姉妹友人がたに、カステジョンにおける礼拝堂のために惜しみない献金をお願いいたします。

「施し散らして、なお富を増す人があり」(箴言 11:24)。先だってお礼申し上げます。

スペインから皆さんの兄弟姉妹より

第一安息日献金

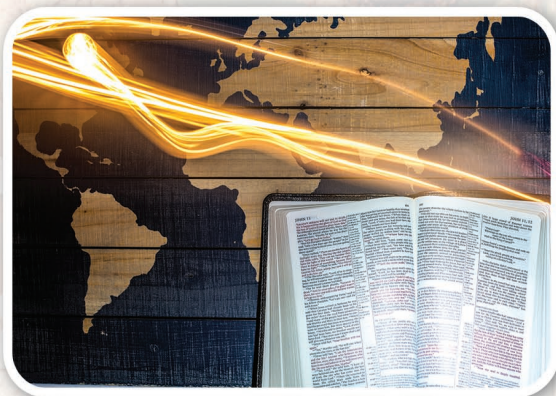


10月1日

ボリビアン・ユニオン本部
のために
(4 ページ参照)

11月5日

貧しいフィールドのための文書
のために
(30 ページ参照)



12月10日

スペインカステジョンの礼拝堂の
ために
(56 ページ参照)